

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	熊本大学埋蔵文化財調査室年報13：2006年度
Author(s)	熊本大学埋蔵文化財調査室
Citation	熊本大学埋蔵文化財調査室年報，13：1-48
Issue date	2008-03-31
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/8062
Right	

熊本大学埋蔵文化財調査室年報 2006 年度



THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHES

KUMAMOTO UNIVERSITY/2006

13

熊本大学埋蔵文化財調査室年報 2006 年度

2007 熊本大学埋蔵文化財調査室

序 文

熊本大学は、旧制第五高等学校を中心とした幾つかの学校の統合再編を経て、戦後設置された新制大学である。このような経緯から、熊本大学は市内に8つのキャンパスをもち、それぞれが県下でも有数の遺跡群内にある。熊本大学では、現地再開発の方針を決定して以降、再開発と文化財保護の観点から、埋蔵文化財調査委員会および埋蔵文化財調査室を設置し、1994年より発掘調査を実施している。本書は、平成18年度に実施した調査の概要である。また、埋蔵文化財調査室が文化財保護活動の一環として行った企画事業の概要を付篇に収録している。

黒髪南地区では、校舎本体の改修がほぼ終了し、本年度はライフラインや周辺的环境整備に係る工事が多かった。調査規模は大きくないが、98年度に調査を実施した集落が、さらに北側に広がることを確認し、これまでに積み重ねてきた調査結果を反映・裏付ける結果を得た。祭祀跡と考えられる遺物も出土し、遺跡の貴重な一端を調査・記録することができた。

黒髪北地区では小規模でかつ近現代の工事による攪乱のため、遺構・遺物はほとんど確認することができなかった。しかし、調査事例が少ない地点での調査であり、今後の再開発および発掘調査を実施する上で、参考となる情報を得ることができた。

本荘北地区では、黒髪南地区同様に、新築された中央診療棟のライフライン及び周辺的环境整備に係る工事が行われた。既往の調査結果に照らし、必要最小限の調査を実施した。

以上のように、本年度は今後の再開発事業において参考となる結果を得た地区があり、また既往の調査成果により調査実地において迅速に対応できた地区もあった。

本年度に得た成果が、今後の再開発事業の参考となるとともに、考古学をはじめとする各研究分野にも活用されることを期待する。

2008年3月

埋蔵文化財調査委員会

委員長 伊 藤 重 剛

例 言

1. 本書は熊本大学構内において、2006年4月1日から2007年3月31日まで行われた埋蔵文化財の調査および熊本大学埋蔵文化財調査室の活動内容に関する年次報告書である。
2. 構内遺跡の調査は、昨年度に引き続き、年次と調査順を表す調査番号で表すこととし、出土遺物や記録類もこの番号で整理・管理している。
3. 遺跡略号は、地区ごとにローマ字3文字で以下のように表記した。黒髪町遺跡黒髪南地区（KKS）、同北地区（KKN）、本庄遺跡医学部構内（HJM）、同病院構内（HJH）、同医療技術短期大学部構内（KHJ）、京町台遺跡教育学部附属小中学校構内（KMS）、大江遺跡群薬学部構内（HJP）。
4. 遺物への注記は、遺跡略号＋調査番号＋出土遺構（位置）の順で行った。
5. 本書に掲載した遺物やその他の出土遺物および調査にかかわる記録類はすべて熊本大学埋蔵文化財調査室にて保管している。
6. 本書の執筆は、付篇および抄録を中川が、Ⅰ章は大坪が、Ⅱ章は小畑・大坪・檀が、英文サマリー・ハングルサマリーを大坪・小畑が行った。
7. 本書の編集は大坪が行った。

目次

<本文目次>

第Ⅰ章 本年度の調査概要 ————— 1

第Ⅱ章 調査の記録 ————— 7

Ⅱ－1 黒髪北地区 ————— 7

1. (黒髪北) 接地工事に伴う立会調査 (0602) ————— 7
2. (黒髪北) 資料館改修工事に伴う発掘調査 (電気工事) (0603) ————— 7
3. (黒髪北) 資料館改修工事に伴う発掘調査 (屋外排水工事) (0604) ————— 10
4. 放送大学案内板取設工事に伴う立会調査 (0605) ————— 10
5. (黒髪北) 前面歩道配管補修工事に伴う立会調査 (0608) ————— 11
6. (黒髪) 環境安全センター給水配管補修工事に伴う立会調査 (0614) ————— 11
7. (黒髪) プール附属家等環境配慮改修 (アスベスト処理) 工事その 2 に伴う立会調査 (0621) ————— 11
8. 黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査に伴う立会調査 (0640) ————— 12

Ⅱ－2 黒髪南地区 ————— 13

1. 工学部研究実験用車庫取設工事 (0606) — 13
2. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 9 に伴う立会調査 (0607) ————— 13
3. 理学部駐輪場ガス漏れ補修工事に伴う立会調査 (0609) ————— 15
4. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 1 に伴う発掘調査 (0611-①) ————— 15
5. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 2 に伴う立会調査 (0611-②) ————— 16
6. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 2 に伴う立会調査 (0612-①) ————— 16
7. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 6 に伴う立会調査 (0612-②) ————— 16
8. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 1 に伴う立会調査 (0612-③) ————— 17
9. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 3 伴う立会調査 (0611-③) ————— 18
10. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 2 に伴う立会調査 (0611-④) ————— 18
11. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業

- 10 に伴う立会調査 (0611-⑤) ————— 18

12. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 10 に伴う立会調査 (0611-⑥) ————— 19

13. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 10 に伴う立会調査 (0611-⑦) ————— 19

14. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 10 に伴う立会調査 (0611-⑧) ————— 20

15. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 2 に伴う立会調査 (0611-⑨) ————— 20

16. 黒髪団地外灯取設その他工事に伴う立会調査 (0623) ————— 20

17. 黒髪南地区工学部通用門周辺植栽に伴う立会調査 (0630) ————— 21

18. 事務局正門樹木植替に伴う立会調査 (0632) ————— 22

19. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業 - 6 に伴う立会調査 (0612-④) ————— 22

20. 理学部 4 号館昇降路取設工事に伴う立会調査 (0636) ————— 23

21. (黒髪南) 理学部温室取り壊し工事に伴う立会調査 (0643) ————— 23

Ⅱ－3 黒髪東地区 ————— 24

1. 教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事に伴う立会調査 (0619) ————— 24

2. 教育学部附属養護学校ガス漏れ緊急工事に伴う立会調査 (0635) ————— 24

Ⅱ－4 本荘北地区 ————— 25

1. 附属病院中央診療棟新営電気設備工事に伴う立会調査 (0613) ————— 25

2. 附属病院中央診療棟新営機械設備 (衛生) 工事に伴う立会調査 (0615) ————— 25

3. 医学部附属病院駐車場側溝修理工事に伴う立会調査 (0618) ————— 27

4. (医病) 環境整備 (西側駐車場等) に伴う立会調査・発掘調査 (0622) ————— 27

5. 附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理に伴う立会調査 (0624) — 28

6. (医病) 基幹・環境整備 (外灯) 工事に伴う立会調査 (0625) ————— 28

7. (医病) 基幹整備 (ボイラー設備他更新) 工事に伴う立会調査 (0626) ————— 29

8. 医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事に伴

う立会調査 (0628)	29
9. (医病) 環境整備 (救急棟改修) 機械設備工事に伴う立会調査 (0646)	29
10. (医病) 環境整備 (山崎記念館外部改修) 工事に伴う立会調査 (0648)	30
II-5 本荘中地区	30
1. (本荘中) 医学部門衛所取り壊し工事に伴う立会調査 (0641)	30
II-6 本荘南地区 (九品寺地区)	31
1. (黒髪) プール附属家等環境配慮改修 (アスベスト処理) 工事に伴う立会工事 (0617)	31
2. (本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事に伴う立会調査 (0629)	32
3. (本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事に伴う立会調査 (0634)	33
4. (本荘) 医学部保健学科校舎改修工事に伴う立会調査 (0637)	33
5. (本荘) 医学部保健学科校舎 CT 用接地工事に伴う立会調査 (0639)	34
6. 本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事に伴う立会調査 (0645)	34
II-7 城東地区	34
1. (教) 附属幼稚園囲障改修工事に伴う立会調査 (0647)	34
II-8 大江地区 (薬学部)	35
1. (大江地区) 雨水設備工事に伴う立会調査 (0627)	35
2. 大江団地 (南地区) 西側囲障改修工事に伴う立会調査 (0644)	35
II-9 宇留毛地区	36
1. (宇留毛) ゴミ置場取設工事に伴う立会調査 (0638)	36
2. 宇留毛団地災害復旧工事に伴う立会調査 (0642)	36
II-10 京町地区	37
1. 教育学部附属中学校テニスコート移設工事に伴う立会調査 (0601)	37
2. 教育学部附属小学校遊具新設工事に伴う立会調査 (0610)	37
3. 教育学部附属中学校給水管補修工事に伴う立会調査 (0616)	38
4. 教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事に伴う立会調査 (0620)	38
II-11 渡鹿地区	39

1. 渡鹿団地防火水槽撤去工事に伴う立会調査 (0631)	39
跋文	41
Summary	42
付篇 1	43
付篇 2	45
報告書抄録	48

<図版目次>

図 1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)	2
図 2 黒髪北地区における調査地点配置図 (1/2000)	8
図 3 黒髪南地区における調査地点配置図 (1/2000)	14
図 4 本荘北地区における調査地点配置図 (1/2000)	26
図 5 本荘中地区における調査地点配置図 (1/2000)	31
図 6 本荘南地区における調査地点配置図 (1/2000)	32
図 7 薬学部地区における調査地点配置図 (1/2000)	36
図 8 京町地区における調査地点配置図 (1/3000)	38

<写真目次>

写真 1 作業風景 (南より)	7
写真 2 掘削状況 (西より)	7
写真 3 作業風景 (北東より)	7
写真 4 道路横断部掘削状況 (南より)	7
写真 5 作業風景 (北東より)	10
写真 6 トレンチ 1 掘削状況 (西より)	10
写真 7 作業風景 (東より)	10
写真 8 掘削状況 (西より)	10
写真 9 陥没状況 (西より)	11
写真 10 掘削状況 (西より)	11
写真 11 作業風景 (北より)	11
写真 12 掘削状況 (南より)	11
写真 13 作業風景 (東より)	12
写真 14 掘削状況 (東より)	12
写真 15 作業風景 (西より)	12
写真 16 掘削状況 (西より)	12
写真 17 掘削状況 (北より)	12
写真 18 掘削全景 (東より)	13
写真 19 掘削状況 (東より)	13
写真 20 ボーリング作業風景 (西より)	13
写真 21 掘削状況 (西より)	13
写真 22 作業風景 (北西より)	15
写真 23 掘削状況 (南より)	15
写真 24 作業風景 (北東より)	15
写真 25 掘削状況 (北東より)	15

写真26	作業風景（北より）	16	写真69	調査区全景（西より）	28
写真27	掘削状況（西より）	16	写真70	遺物出土状況（東より）	28
写真28	掘削状況（西より）	16	写真71	掘削状況（西より）	28
写真29	作業風景（南西より）	17	写真72	外灯②基礎掘削状況（南より）	28
写真30	掘削状況（南より）	17	写真73	外灯⑦基礎掘削状況（西より）	28
写真31	作業風景（西より）	17	写真74	掘削状況（南東より）	29
写真32	トレンチ2掘削状況（西より）	17	写真75	掘削状況（南より）	29
写真33	トレンチ3掘削状況（西より）	17	写真76	作業風景（東より）	29
写真34	掘削状況（西より）	18	写真77	掘削状況（北より）	30
写真35	掘削全景（東より）	18	写真78	作業風景（東南より）	30
写真36	東端部包含層検出部分（北より）	18	写真79	作業風景（南西より）	30
写真37	障害者用駐車場掘削状況（東南より）	19	写真80	掘削状況（南東より）	30
写真38	緑地帯削平状況（東より）	19	写真81	調査地点近景（北より）	31
写真39	資料館前掘削状況（北より）	19	写真82	掘削状況（南より）	31
写真40	掘削状況（東より）	19	写真83	トレンチ1掘削状況（北より）	32
写真41	掘削状況（西より）	19	写真84	トレンチ4掘削状況（北より）	32
写真42	緑地帯削平部分（北より）	20	写真85	トレンチ5作業風景（南より）	33
写真43	側溝設置部分（西より）	20	写真86	作業風景（南より）	33
写真44	掘削状況（南より）	20	写真87	掘削状況（南より）	33
写真45	掘削状況（北より）	20	写真88	遺伝発生医学研究棟トレンチ（南より）	33
写真46	理学部東側作業風景（北より）	21	写真89	地下ピット掘削状況（西より）	34
写真47	道路横断部掘削状況（西より）	21	写真90	階段基礎部掘削状況（西より）	34
写真48	理学部1号館北側道路横断部掘削状況（南より）	21	写真91	掘削状況（西より）	34
写真49	南地区食堂西側外灯基礎部掘削状況（西より）	21	写真92	作業風景（南より）	35
写真50	掘削状況（南より）	22	写真93	掘削状況（南より）	35
写真51	掘削状況（北より）	22	写真94	作業風景（南より）	35
写真52	理学部1号館西側遺構検出状況（西より）	22	写真95	掘削状況（西より）	35
写真53	理学部1号館北側調査区（西より）	22	写真96	作業風景（東南より）	36
写真54	1次掘削風景（北西より）	23	写真97	掘削状況（南東より）	36
写真55	調査区全景（南より）	23	写真98	移設先作業風景（東より）	37
写真56	解体作業風景（東より）	23	写真99	掘削状況（東より）	37
写真57	土層状況（南より）	23	写真100	作業風景（南より）	37
写真58	掘削状況（北東より）	24	写真101	掘削状況（西より）	37
写真59	掘削状況（東より）	24	写真102	作業風景（西より）	38
写真60	ロータリー付近掘削状況（南より）	24	写真103	掘削状況（南より）	38
写真61	プール側掘削状況（北より）	24	写真104	掘削状況（南西より）	39
写真62	作業風景（南より）	25	写真105	作業風景（北東より）	39
写真63	掘削状況（南より）	25	写真106	破碎状況（北より）	39
写真64	掘削状況（南より）	25			
写真65	柵部分掘削状況（東より）	25			
写真66	作業風景（北西より）	27			
写真67	掘削状況（東より）	27			
写真68	作業風景（南東より）	27			

<表目次>

表1	熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧	1
表2	2006年度調査一覧	3

第Ⅰ章 本年度の調査概要

本年度は、表2のとおり、発掘調査7件、立会調査52件を実施した。また、熊本市文化財課による試掘調査が2件実施された。

本年度実施した発掘調査は黒髪地区の五高資料館改修工事に伴う調査（0603・0604）、黒髪南地区の工学部他校舎改修等施設設備事業に伴う調査（0612①・0612②・0612④）、理学部4号館昇降路取設工事にともなう調査（0636）、本荘北地区の（医病）環境整備（西側駐車場等）工事に伴う調査（0622）である。配管・配線に伴う工事が多く、いずれも小規模であり、立会調査の過程で本調査に切り替えたものである。

工学部他校舎改修等施設整備事業に伴う調査（0612④）では、狭長ながら比較的まとまった範囲を調査した。0612④調査地点は理学部1号館の東半分の外周を囲む配置であり、9810調査地点の北側に位置し、一部隣接する。調査の結果、数軒の古代の堅穴住居址と数条の溝、柱穴などを検出した。このうち大溝は、9810調査地点の1号溝の北側延長部にあたり、溝の続きを検出したと思われる。また、祭祀を行った跡と思われる獣骨等も出土した。

0612④調査地点の調査結果から、9810調査地点において確認した集落が、さらに北側に広がることが確認できた。また、北側になるにつれ、包含層・遺構面が検出される深さは若干浅くなることも改めて確認した。既往の調査で、アスファルト舗装と敷石の下は直ぐに包含層になっており、浅くなることは予想されていたが、今回の調査では浅いながらも近・現代の工事の影響がなければ、遺跡は良好に残っていることが判明した。これは、工学部他校舎改修等施設整備事業に伴う調査地点（0612②）でも同様である。

理学部4号館昇降路取設工事に伴う0636調査地点では、対象範囲のほとんどが既に破壊されていた。

五高資料館改修工事に伴う調査（0603・0604）でも資料館付近は包含層・遺構面が残っていることが判明した。今回の調査は、面積が非常に狭くまた攪乱も多いため、遺跡の内容を把握するのは困難であったが、今後周辺での開発事業の際の参考となろう。元来、黒髪北地区は現在の校舎が建設されて以降大きな開発事業が少なく、重要文化財に指定されている資料館周辺は特に遺跡の遺存

表1 熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備考
1	黒髪北地区（法・文・教・大教センター） 黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪2丁目40-1 熊 本市黒髪5丁目17-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪2丁目39-1	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁5-12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東5-9	熊本城址	城館址・熊本城関 連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240-1	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	合津マリンステーション	上天草市松島町大字合津 6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査に よって貝塚でない ことが判明
7	本荘中地区（医学部）	熊本市本荘2丁目2-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘1丁目1-1	本庄遺跡（熊 大病院敷地遺 跡）	散布地・集落址・ 墓地	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・近代	
9	本荘南地区（保健学科）	熊本市九品寺4丁目24-1	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・ 奈良・平安・ 中世	周辺遺跡
10	薬学部	熊本市大江本町5-1	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿4丁目1-1	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪7丁目	宇留毛神社周 辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・ 平安	

図1 黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図 (1/25000)

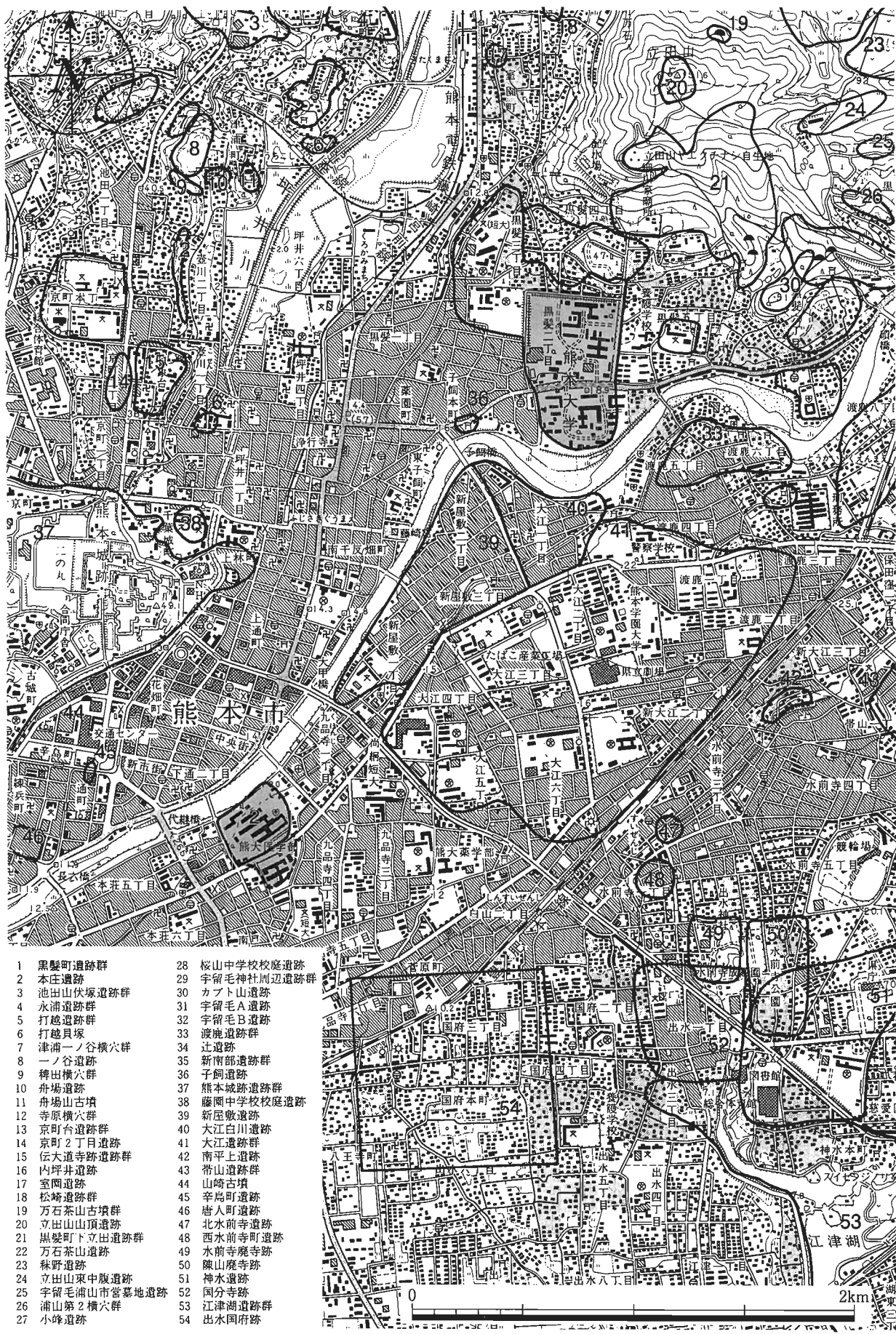


表2 2006年度調査一覧

調査期日	調査番号	地点名	調査の 種 類	調査面積	時代	遺構・遺物
06・4・11	0601	教育学部附属中学校テニスコート移設	立会調査	5.94㎡		遺構・遺物なし
06・4・11	0602	(黒髪北) 接地工事	立会調査	6 ㎡		遺構・遺物なし
06・4・11	0603	(黒髪北) 資料館改修工事	発掘調査	32.1㎡	古代	土師器
06・4・11～ 4・12	0604	(黒髪北) 資料館改修工事(屋外排水)	発掘調査	25.12㎡	古代	土師器
06・4・12	0606	工学部研究実験用車庫取設工事	立会調査	49.05㎡		遺構・遺物なし
06・4・13	0605	放送大学案内板取設工事	立会調査	1.5㎡		遺構・遺物なし
06・4・18～ 4・19	0607	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－9	立会調査	5.2㎡		遺構・遺物なし
06・4・21	0608	(黒髪北) 前面歩道配管補修工事	立会調査	1.3㎡		遺構・遺物なし
06・4・24	0609	理学部駐輪場ガス洩れ補修	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし
06・5・2	0610	教育学部附属小学校遊具新設	立会調査	0.98㎡		遺構・遺物なし
06・5・11	0611①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	32㎡		遺構・遺物なし
06・5・22 5・25	0611②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	129㎡		遺構・遺物なし
06・5・22	0612①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	1.1㎡	古代	柱穴・土師器
06・5・22～ 5・24 6・7	0612②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－6	発掘調査	24㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器
06・6・12	0614	(黒髪) 環境安全センター給水配管補修	立会調査	0.57㎡		遺構・遺物なし
06・6・19	0613	附属病院中央診療棟新営電気設備工事	立会調査	72.4㎡		遺構・遺物なし
06・6・22 6・28 7・3	0615	附属病院中央診療棟新営機械設備(衛生)工事	立会調査	153㎡	古代	土師器・須恵器
06・6・27 7・7	0612③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	21.98㎡	古代	土師器・須恵器
06・8・7	0616	教育学部附属中学校給水管補修工事	立会調査	1.7㎡		遺構・遺物なし
06・8・11	0617	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事	立会調査	0.59㎡		遺構・遺物なし
06・8・11	0618	医学部附属病院駐車場側溝修理	立会調査	8.75㎡		遺構・遺物なし
06・8・21	0619	教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他工事	立会調査	420.51㎡		遺構・遺物なし
06・8・24～ 8・25	0611③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	20.7㎡		遺構・遺物なし
06・8・31～ 9・1	0611④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	64.1㎡	古代	溝・土師器
06・9・7	0620	教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし
06・9・11	0611⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	49.64㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の 種 類	調査面積	時代	遺構・遺物
06・9・12	0611⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	140㎡		遺構・遺物なし
06・9・14～ 9・15	0611⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	32.96㎡		遺構・遺物なし
06・9・20～ 9・21	0611⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－10	立会調査	55.1㎡		遺構・遺物なし
06・10・2	0611⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし
06・10・2	0621	(黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事 その2	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし
06・10・2 10・16 10・27 10・30 11・13	0622	(医病) 環境整備(西側駐車場等)工事	発掘調査	8,077.5㎡ (50.68㎡)	古代	土師器・須恵器
06・10・10 10・12	0623	黒髪団地外灯取設その他工事	立会調査	26.79㎡		遺構・遺物なし
06・10・13	0624	附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理	立会調査	2.16㎡		遺構・遺物なし
06・10・16	0625	(医病) 基幹・環境整備(外灯)工事	立会調査	296.4㎡		遺構・遺物なし
06・10・19	0626	(医病) 基幹整備(ボイラー設備他更新)工事	立会調査	106.7㎡		遺構・遺物なし
06・10・25	0627	(大江地区) 雨水設備工事	立会調査	0.24㎡		遺構・遺物なし
06・11・2	0628	医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事	立会調査	2.8㎡		遺構・遺物なし
06・11・14 11・15		医学部附属病院立体駐車場設置	試掘調査		古代	土抗・柱穴・土器
06・11・17 11・27 12・4	0629	(本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事	立会調査	239.4㎡	古代	土師器
06・11・20	0630	黒髪南地区工学部通用門周辺植栽	立会調査	15㎡		遺構・遺物なし
06・11・28～ 11・29		黒髪南地区研究施設新設工事	試掘調査		古代	土器
06・11・30	0631	渡鹿団地防火用水撤去工事	立会調査	56.93㎡		遺構・遺物なし
06・12・1	0632	事務局正門樹木植替え	立会調査	3.36㎡		遺構・遺物なし
06・12・15 12・18～ 12・25 12・27～ 12・28	0612④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－6	発掘調査	162.7㎡	古代	土師器・須恵器・動物骨
07・1・4～ 1・9						
06・12・19	0633	本荘北地区南側駐車場歩道環境整備工事	立会調査	2,943.79㎡		遺構・遺物なし
06・12・25 07・4・2	0634	(本荘) 医学部保健学科校舎改修機械設備工事	立会調査	113.36㎡		遺構・遺物なし
07・1・10～ 1・12 1・19	0635	(黒髪北) 教育学部附属養護学校ガス漏れ調査補修工事	立会調査	13.45㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
07・1・18 1・22～ 1・23	0636	理学部4号館昇降路取設工事	発掘調査	30.35㎡	古代	土師器・須恵器・礫
07・1・30 4・6	0637	(本荘)医学部保健学科校舎改修工事	立会調査	341.2㎡		遺構・遺物なし
07・2・1	0638	(宇留毛)ゴミ置き場取設工事	立会調査	35㎡		遺構・遺物なし
07・2・20	0639	(本荘)医学部保健学科校舎CT用接地工事	立会調査	4.35㎡		遺構・遺物なし
07・2・26	0640	黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査	立会調査	1.52㎡		遺構・遺物なし
07・3・1	0641	(本荘中)医学部門衛所取り壊し工事	立会調査	52.42㎡		遺構・遺物なし
07・3・6	0642	宇留毛団地災害復旧工事	立会調査	134.82㎡		遺構・遺物なし
07・3・8	0643	(黒髪南)理学部温室取り壊し工事	立会調査	101.7㎡	古代	土師器
07・3・8	0644	(南地区)西側囲障改修工事	立会調査	55.28㎡		遺構・遺物なし
07・3・12	0645	本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事	立会調査	763㎡		遺構・遺物なし
07・3・20	0646	(医病)環境整備(救急棟改修)機械設備工事	立会調査	5.77㎡		遺構・遺物なし
07・3・22	0647	(教)附属幼稚園囲障改修工事	立会調査	25.7㎡		遺構・遺物なし
07・3・26	0648	(医病)環境整備(山崎記念館外部改修)工事	立会調査	1.15㎡		遺構・遺物なし

状態が良好であると思われる。
（医病）環境整備（西側駐車場等）工事に伴う0622調査地点には、0411・0509調査地点の周縁部にあたり、それぞれに包含層と遺構面の調査を行った。
今年度実施した各地点の調査は小規模なものであった

が、既往の調査結果を裏付けるものであった。近・現代の開発行為により既に破壊された箇所もあるが、いずれのキャンパスにおいても基本的に遺跡は遺存していることを再認識する結果であった。

第Ⅱ章 調査の記録

Ⅱ－1 黒髪北地区

(図2参照)

1. (黒髪北) 接地工事に伴う立会調査 (0602)

<調査期間>

2006年4月11日

<調査対象面積>

6 m²

<調査員>

大坪志子.

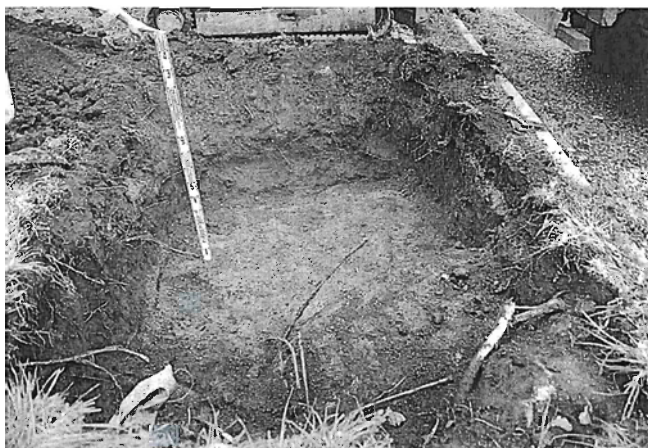
<調査概要・結果>

接地工事のために2×3mの範囲を掘削した。深さは0.9から1.0mまでである。遺構面(地山)の土壌が検出されたが、一度攪拌を受けたような清浄な状態ではなかった。遺構は検出されなかった。また、遺構面直上まで埋土であり、遺物包含層は確認されなかった。遺構面まですでに一度削平された可能性がある。遺物の出土もない。

写真1 作業風景(南より)



写真2 掘削状況(西より)



2. (黒髪北) 資料館改修工事に伴う発掘調査(電気工事) (0603)

<調査期間>

2006年4月11日

<調査対象面積>

32.1 m²

<調査員・調査参加者>

小畑弘己・大坪志子.

森川征子・森川護

<調査概要・結果>

文法学部棟から、五高記念館に電気配線をする工事である。幅約90cmで掘削した。掘削は、文法学部棟付近では埋土内であり、資料館付近では包含層に達したが遺構はなく、遺構面には達しない。道路横断部では現地表から60cm程度で古代の遺物包含層、70cmで遺構面を検出した。溝状の遺構と柱跡と思われるピットが数個検出された。遺物は土師器・須恵器片である。

写真3 作業風景(北東より)

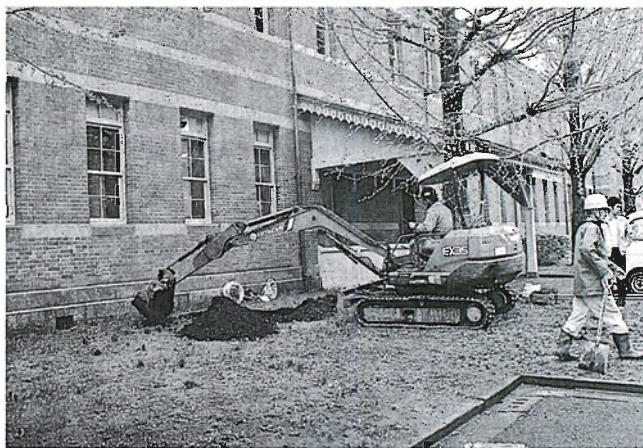
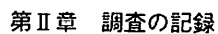
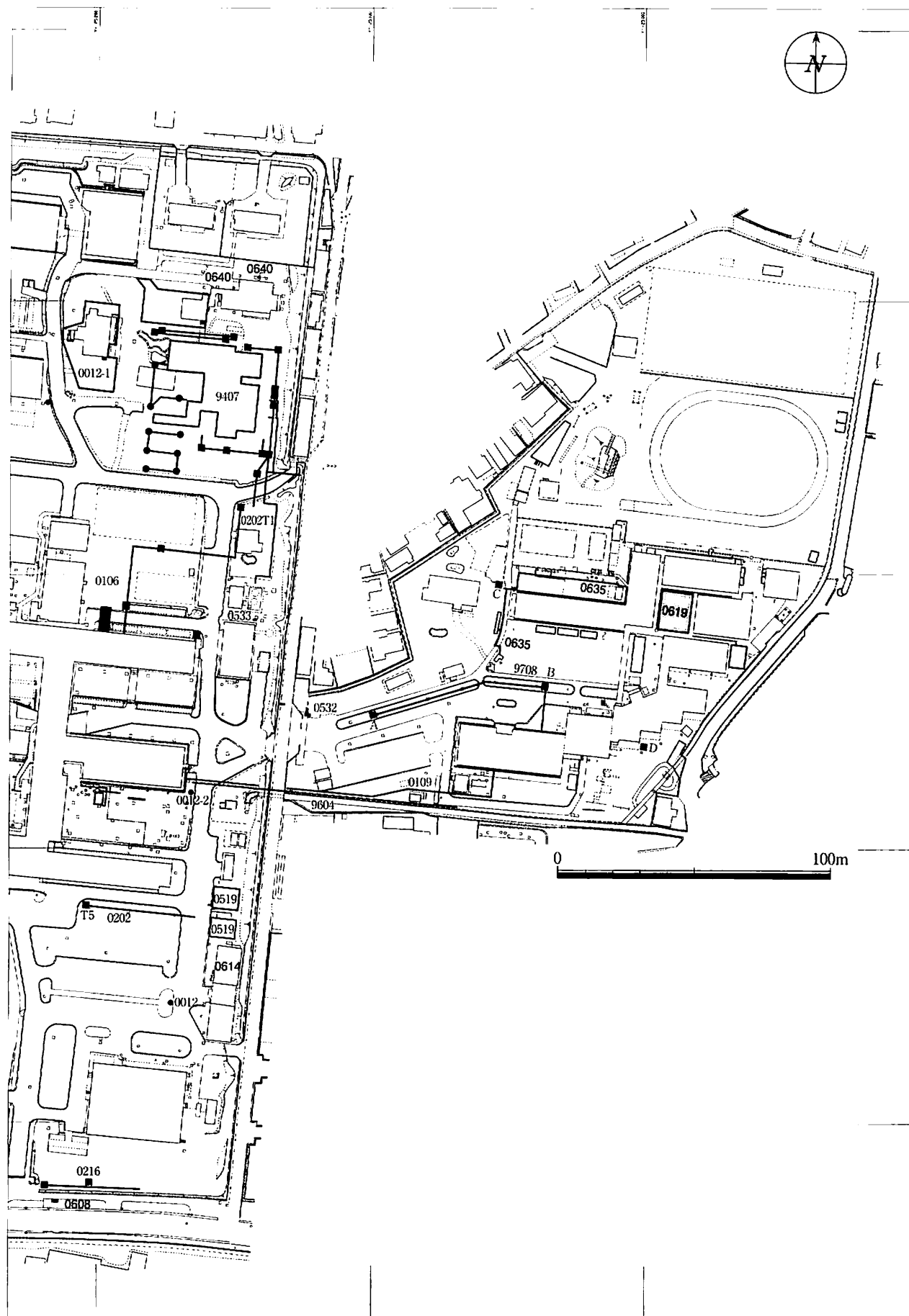


写真4 道路横断部掘削状況(南より)







3. (黒髪北) 資料館改修工事に伴う発掘調査 (屋外排水工事) (0604)

<調査期間>

2006年4月11日～12日

<調査対象面積>

25.12㎡

<調査員・調査参加者>

小畑弘己・大坪志子・

小細工洋子・溜渕俊子・早田咲百合・森川征子・森川護・森田登・

<調査概要・結果>

資料館北側に排水桝を設置する工事である。

トレンチ1では、0.5m程度の深さで遺物包含層を検出し、0.75mまで掘削した。

トレンチ2では1.0mの深さで遺物包含層を検出した。1.2mまで慎重に掘削したが、遺構はなかった。工事に必要な深さはここまでであったため、遺構面までは達しなかった。

トレンチ3は既設の桝の周囲を掘削したため、多くの既設管があり、攪乱が多かった。1.0mで遺物包含層を

検出し、1.24mで遺構面を検出した。溝と思われる遺構を検出したが、東側の肩が幅20cm程度残っているのみで、西側は既設管により破壊されていた。

4. 放送大学案内板取設工事に伴う立会調査 (0605)

<調査期間>

2006年4月13日

<調査対象面積>

1.5㎡

<調査員・参加者>

檀 佳克・

<調査概要・結果>

看板基礎設置のため、東西1.5m、南北1mの範囲で掘削した。地表下40cmで灰色の砂利層が厚さ約20cmで確認され、その下層は黄色粘土混じりの黒色砂層(客土)であった。地表下160cmで東西方向に延びる排水管を検出し、そこまで掘削を完了した。排水管設置時の攪乱箇所の掘削であり、遺構・遺物の検出はない。

写真5 作業風景 (北東より)



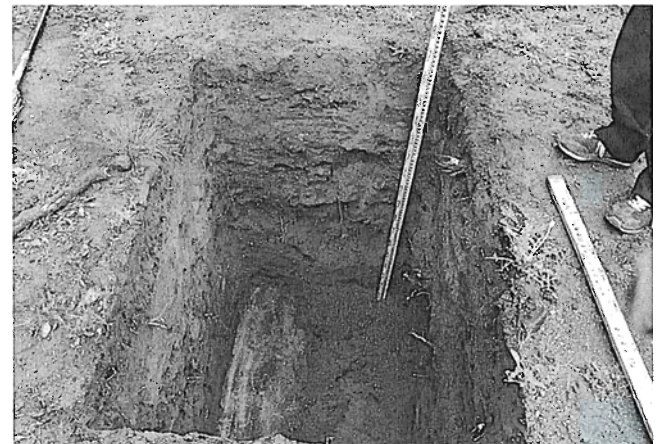
写真6 トレンチ1掘削状況 (西より)



写真7 作業風景 (東より)



写真8 掘削状況 (西より)



5. (黒髪北) 前面歩道配管補修工事に伴う立会調査 (0608)

<調査期間>

2006年4月21日

<調査対象面積>

1.3㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

下水道による道路陥没の補修工事である。本格的な工事は夕方より開始された。地表下2mほどまで掘り下げるが、下水管埋設の掘方内部で攪乱を受けており、遺構・遺物ともに検出していない。

写真9 陥没状況 (西より)



写真10 掘削状況 (西より)



6. (黒髪) 環境安全センター給水配管補修工事に伴う立会調査 (0614)

<調査期間>

2006年6月12日

<調査対象面積>

0.57㎡

<調査員>

檀 佳克.

<調査概要・結果>

黒髪北地区で給水管より漏水が発生し、緊急に掘削が必要となり、熊本市文化財課の指導により立会調査を行った。漏水箇所で60cm×95cmの範囲で深さ75cmまで掘削したが、建物基礎設置と配管設置の際に、既に掘削された範囲内での掘削であり、遺構・遺物の検出もなく工事掘削を完了している。

写真11 作業風景 (北より)



写真12 掘削状況 (南より)



7. (黒髪) プール附属家等環境配慮改修(アスベスト処理)工事その2に伴う立会調査(0621)

<調査期間>

2006年10月2日

<調査対象面積>

44㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

地表下25cmの掘削であり、範囲内においてはすべて埋土の厚さより深度は浅く、なんらの遺構・遺物ともに検出されていない。

写真13 作業風景（東より）

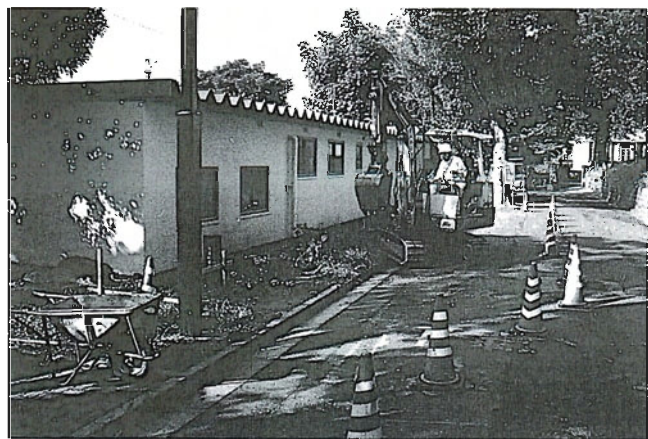


写真15 作業風景（西より）



写真14 掘削状況（東より）

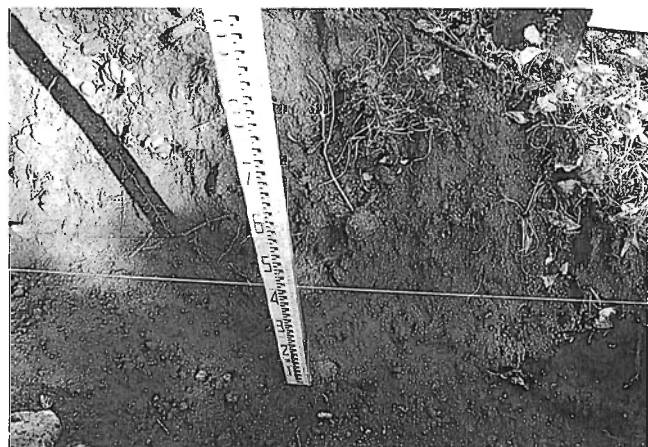


写真16 掘削状況（西より）



8. 黒髪団地北地区知命堂ガス漏れ調査に伴う立会調査（0640）

<調査期間>

2007年 2月26日

<調査対象面積>

1.52㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

知命堂に配管されたガス管でガス漏れしていることが判明し、そのガス漏れしている箇所を捜すため、ガス管を分断することになった。ガス管を分断する適所を2箇所選び、作業に必要な広さと深さを確保するために掘削を行い、これに伴って立会調査を行った。

建物東側と北側の個所で掘削を行ったが、いずれの場所においても、掘削は埋土内であり遺物包含層や遺構面の検出はなかった。出土遺物もない。

写真17 掘削状況（北より）



Ⅱ－２ 黒髪南地区

(図3参照)

1. 工学部研究実験用車庫取設工事 (0606)

<調査期間>

2006年4月12日

<調査対象面積>

49.05㎡.

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

地表下20cmの掘削であり、範囲内においてはすべて埋土の厚さより深度は浅く、遺構・遺物ともに検出されなかった。

写真18 掘削全景（東より）

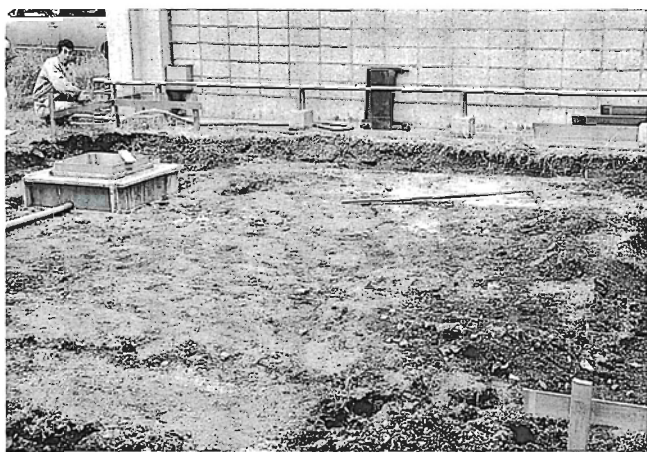
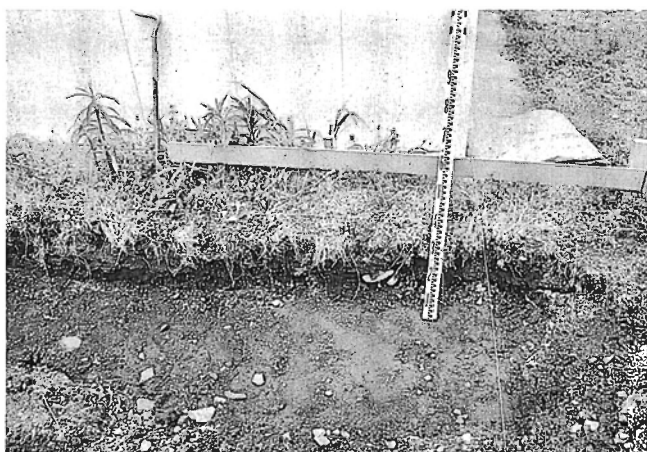


写真19 掘削状況（東より）



2. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－9に伴う立会調査 (0607)

<調査期間>

2006年4月18日～19日

<調査対象面積>

5.2㎡

<調査員>

檀 佳克.

<調査概要・結果>

4月18日に施設部担当者より、黒髪南地区でガス漏れが起きた為、緊急に掘削を行いたい旨連絡があった。熊本市文化財課より、埋蔵文化財調査室調査員の工事立会で掘削するよう指導を受け、立会のもと掘削を実施した。

まず、電気探査で管路を探るため、ガス管理設箇所、50×60cmで、深さ50cmまで、攪乱内での掘削を行った。同時に、破損箇所の特定の為に、径1.5cmで深さ1m程、21箇所ボーリングを行った。結果、ガス漏れが数箇所である可能性が高く、ガス管の元を断つ工事を行うことになった。

ガス管切断の為の掘削は、大学事務局南西隅の地点で、4.9㎡の範囲で行った。最深部で地表より115cmの掘削を行い、その箇所では攪乱層直下から黄褐色混砂土(10YR3/4、基盤層)を検出したが、遺構は検出されなかった。ガス管は、そこから西へ広げた地点より、深さ85cmで検出、掘削区は建物基礎や水道管理設時の攪乱が及んでいることが判明した。その後、ガス管を切断して埋め戻している。本工事による遺構・遺物の出土はな

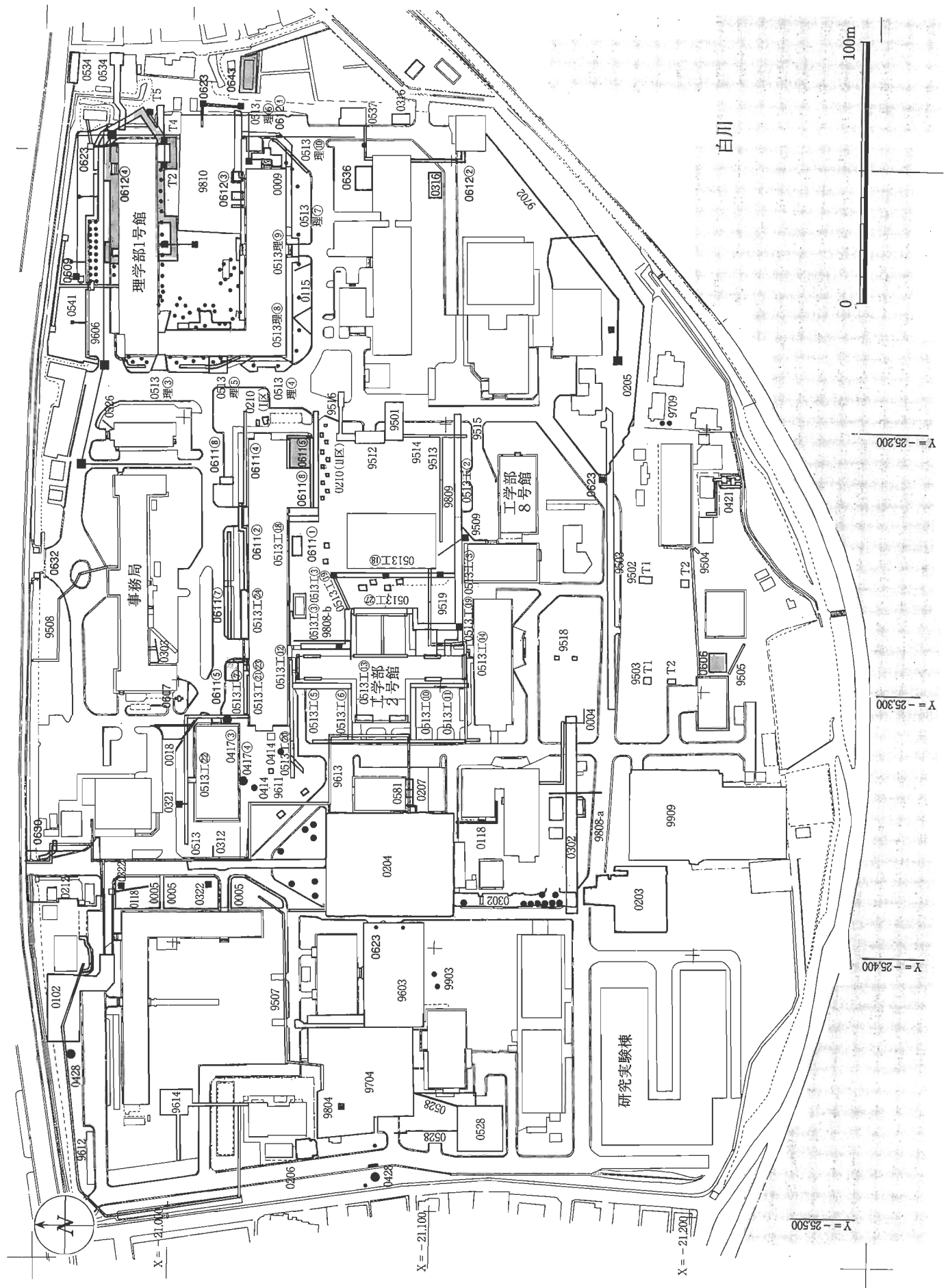
写真20 ボーリング作業風景（西より）



写真21 掘削状況（西より）



図3 黒髪南地区における調査地点配置図 (1/2000)



かった。

3. 理学部駐輪場ガス漏れ補修工事に伴う立会調査 (0609)

<調査期間>

2006年4月24日

<調査対象面積>

1.7㎡

<調査員>

大坪志子。

<調査概要・結果>

理学部駐輪場中央にあるガスメーター小屋付近でガス漏れが発生している旨の連絡があり、熊本市文化財課の許可・指示のもと、補修のため掘削を行った。

ガスメーター小屋の西側を0.9×2m、深さ1.6m前後を掘削した。

既設管を掘り出したところ、配管時に既に遺構面を20cm程度策平していることが分かった。精査したが、検出した遺構面では、遺存する遺構はなかった。補修作業に必要と思われる空間を確保する掘削まで文化財に影響が

無いことを確認し、補修作業に際しては掘り方内で作業を行うよう指示した。

4. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う発掘調査 (0611－①)

<調査期間>

2006年5月11日

<調査対象面積>

32㎡

<調査員>

小畑弘己。

<調査概要・結果>

地表下50cmほど掘り下げ浄化槽のコンクリート部分を出して蓋を割り浄化槽中に土を入れるという工事である。浄化槽部分はすでに3mほど掘られており、この一帯の遺物包含層や遺構検出面(地表下50～80cm)をすでに破壊している状態であった。このため、遺構・遺物ともに範囲内では確認できなかった。

写真22 作業風景(北西より)

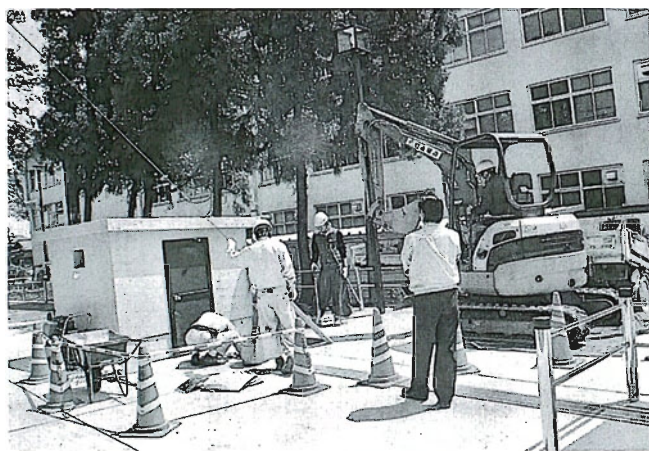


写真23 掘削状況(南より)

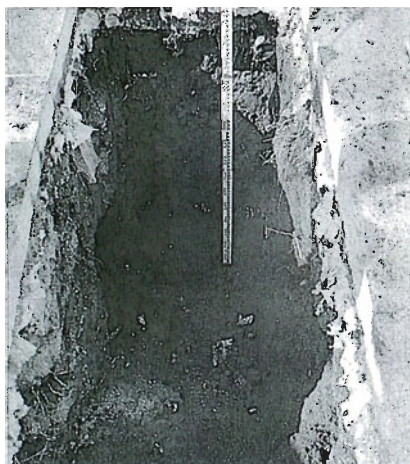


写真24 作業風景(北東より)



写真25 掘削状況(北東より)



5. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 2に伴う立会調査 (0611－②)

<調査期間>

2006年5月22日・25日

<調査対象面積>

129㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

西側部分は、地表下80cm掘り下げるが、建物の基礎掘りの部分に相当するものと思われ、すべて埋め土であった。

東側部分では地表下80cmほど掘り下げると、建物基礎によって掘削範囲の半分ほどが攪乱を受けていたが、玄関前面で、掘削範囲の半分ほどは地表下30cmほどで古代の遺物包含層が現れた。急遽手掘りに切り替え、遺物(土師器・須恵器片)を回収したが、遺構は検出できなかった。地山の黄褐色土層は地表した60cmほどで現れた。

写真26 作業風景 (北より)

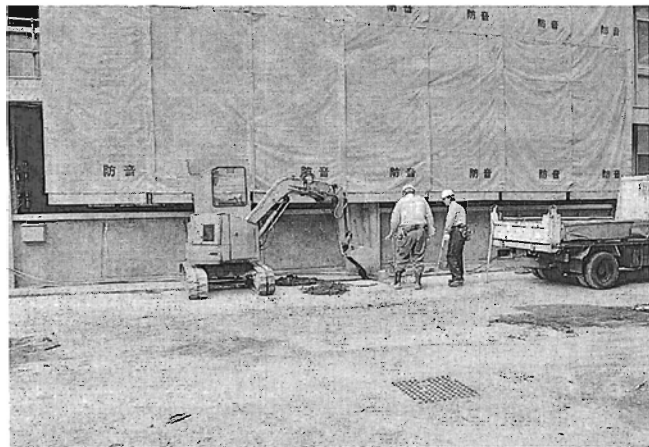


写真27 掘削状況 (西より)



6. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 2に伴う立会調査 (0612 - ①)

<調査期間>

2006年5月22日

<調査対象面積>

1.1㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

昨年発掘調査を行った0513理⑩区内で、既設管のため調査を行わず残した部分を掘削し配管することになった。今回、既設管の下1.35×0.7mの範囲を調査した。

遺構面において直径40cm、深さ70cmのピット1つを検出した。ピット内からは上部で土師器片が5～6点出土した。

写真28 掘削状況 (西より)



7. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 6に伴う立会調査 (0612－②)

<調査期間>

2006年5月22日一次掘削

24日発掘調査

6月7日

<調査対象面積>

24㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

理学部4号館とヘリウム棟の間にヘリウム回収管を接続する工事である。

アスファルト・バラスを撤去して埋土を掘削すると、地表から0.4mの深さで遺物包含層が検出された。このため、本調査に切り替えた。

遺物包含層を慎重に掘り下げ遺構面を検出した。調査区内は、既設配管やその他の工事により攪乱が多く、遺構面の遺存状態は悪かった。

写真29 作業風景（南西より）



写真31 作業風景（西より）

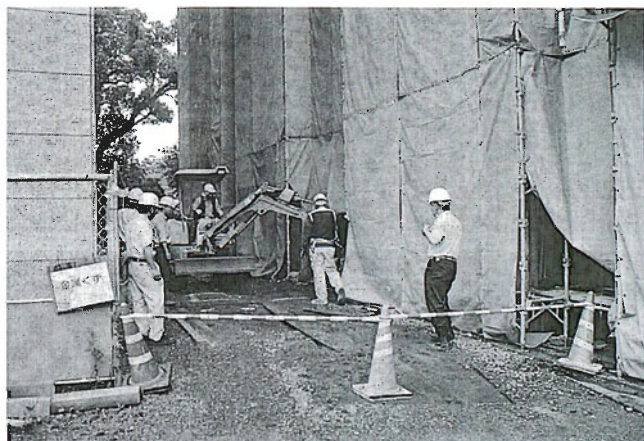


写真30 掘削状況（南より）



遺構面ではピット数個と溝を1条検出した。遺物は土師器片や須恵器片である。

写真32 トレンチ2掘削状況（西より）

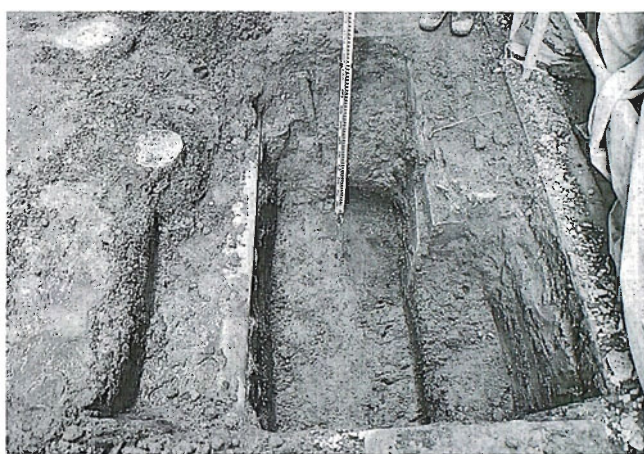
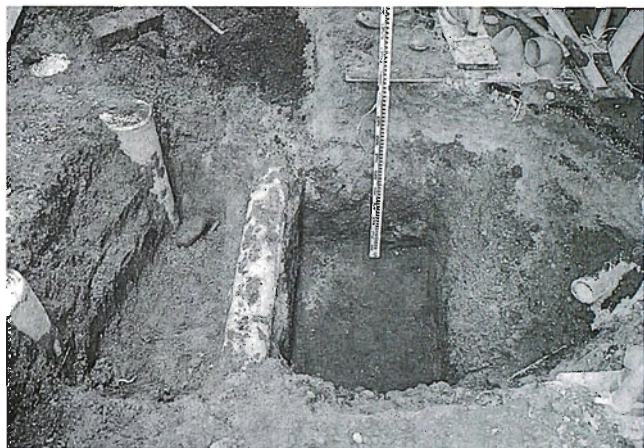


写真33 トレンチ3掘削状況（西より）



を検出したが、遺構は確認されなかった。

トレンチ3では3.2×4.3mの範囲を掘削した結果、1.4×0.7の範囲で遺物包含層が検出され、焼土もあったことから住居址の可能性があると判断した。工事責任者と協議した結果、掘削の深さを変更しこれ以上の掘削は行わないこととした。工事の都合上、7月7日に北半分を掘削した。1.1mまで掘削した結果遺構面まで達したが、遺構は確認されなかった。

8.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0612－③）

<調査期間>

2006年6月27日

7月7日

<調査対象面積>

21.98㎡

<調査員>

大坪志子。

<調査概要・結果>

昨年度、0513理⑩調査区において施工した配管と、理学部建物3箇所から枝管を接続するものである。

トレンチ1では、1×4.3m、深さ0.5mを掘削した。接続部分では1.0mまで掘削したが埋土内だった。

トレンチ2では、3.2×4.3mの範囲を掘削した。昨年の工事と建物建設時の掘り方の僅かな間にあたり、建物壁面から3mのところ、幅10cmのベルト状に遺存する遺物包含層を確認した。1.3mの深さまで掘削し遺構面

9. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 3 に伴う立会調査 (0611－③)

<調査期間>

2006年 8 月24日～25日

<調査対象面積>

20.7㎡

<調査員>

大坪志子.

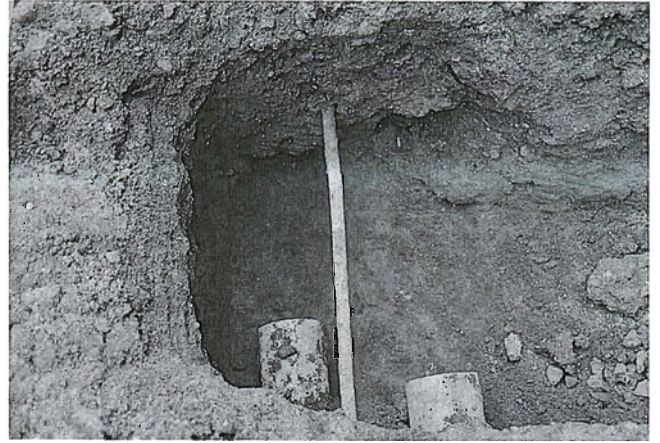
<調査概要・結果>

工学部1号館東端南側を配管のため掘削した。埋土内で、包含層・遺構面の検出はなかった。

写真34 掘削状況 (西より)



写真36 東端部包含層検出部分 (北より)



工学部1号館北側沿いに配管をするため掘削を行った。L字状に北へ延ばした部分では、建物から3.45m以北で、深さ0.9mで包含層を確認した。包含層を掘削すると幅40cm、深さ15cm、東西方向の溝状になった。建物から3.45m程度までの範囲が、建物建設時の掘り方と考えられる。

配管ルート of 東端部分では、調査範囲の端に幅16cm長さ1.34mの細長い範囲で、深さ0.8mで包含層が、1.05mで遺構面が確認された。深さが8cm程度の窪みがあったが、ピットか溝か不明である。遺物は出土しなかった。

10. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 2 に伴う立会調査 (0611－④)

<調査期間>

2006年 8 月31日～9月1日

<調査対象面積>

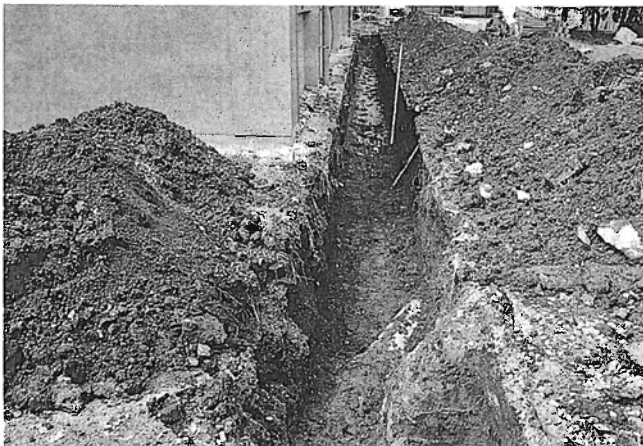
64.1㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

写真35 掘削全景 (東より)



11. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－ 10に伴う立会調査 (0611－⑤)

<調査期間>

2006年 9 月11日

<調査対象面積>

49.64㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

3箇所について立会調査を行った。

まず、工学部1号館西側入口横に、障害者用駐車スペースを設置する工事である。これまで緑地帯となっていた盛り土を、周囲のアスファルト下碎石程度まで掘削した。包含層や遺構面には達しなかった。出土遺物もない。

次に、事務局西端南側にある緑地帯を一部削平した。ここでも、周囲のアスファルトより、若干低くなる程度までの掘削であり、包含層や遺構面には達しなかった。

最後に工学部資料館入口に側溝を設けるため掘削を行った。資料館は国の重要文化財に指定されているため、掘削は必要最小限に留め、慎重に行った。深さは30cm程

度掘削した、遺構面と思われる土壌が検出されたが一度掘りこされたようなやや汚い土であった。遺構も確認されなかった。

写真37 障害者用駐車場掘削状況（東南より）

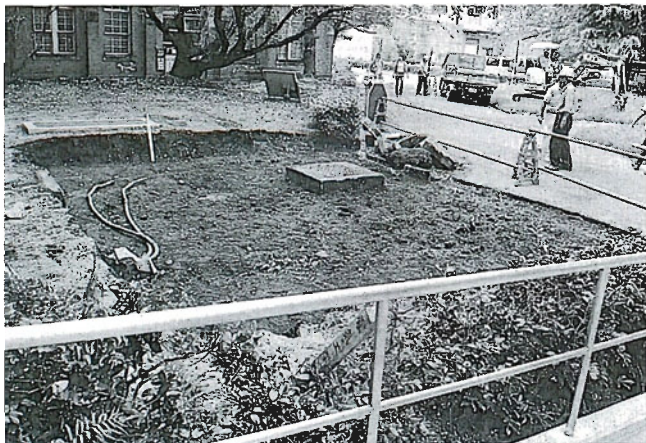


写真38 緑地帯削平状況（東より）

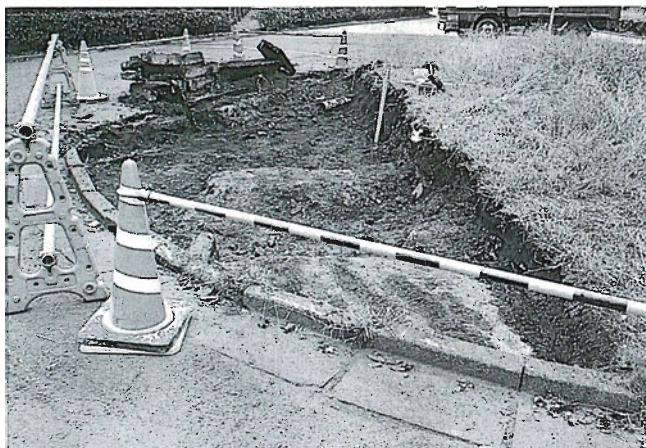
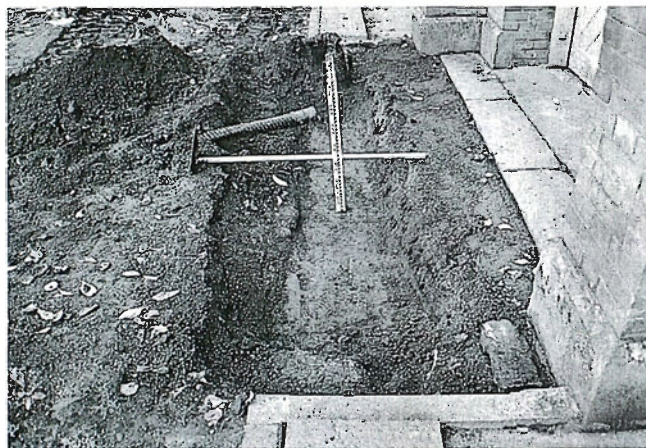


写真39 資料館前掘削状況（北より）



12.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10に伴う立会調査（0611－⑥）

<調査期間>

2006年9月12日

<調査対象面積>

140㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

地下水槽を撤去する工事である。水槽は全てを撤去するのではなく、地上露出部分より1m程度上部を割り取り、他はそのまま埋めてしまう工法である。天井部分を破碎したあと、側壁は内側に倒すように撤去し、周辺はほとんど掘削していない。水槽設置時の掘方内で、作業は行われた。包含層・遺構面には影響なかった。

写真40 掘削状況（東より）



13.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－10に伴う立会調査（0611－⑦）

<調査期間>

2006年9月14日

<調査対象面積>

32.96㎡

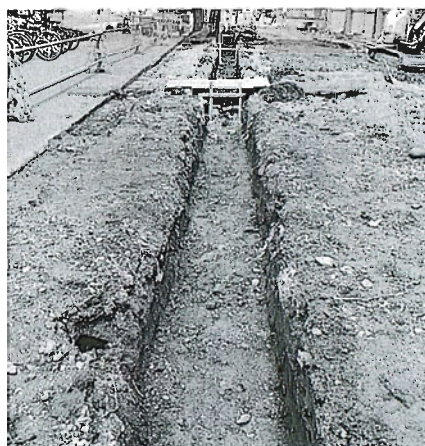
<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

工学部1号館前駐輪場スペースに側溝を設置する工事

写真41 掘削状況（西より）



である。幅0.8m、深さ0.5m、長さ約41mを掘削した。埋土内での掘削で、包含層・遺構面に達することはなかった。出土遺物もない。

14. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－10に伴う立会調査 (0611－⑧)

<調査期間>

2006年9月20日～21日

<調査対象面積>

55.1㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

工学部1号館東部北側にある緑地帯を一部削平して、駐車スペースを広げた。周囲のアスファルト砕石程度までの掘削である。また、既設の柵を撤去し、別の地点に新設柵を設けた。最も深いところで30cmほど掘削したが、包含層・遺構面には達しなかった。出土遺物はない。

また、1号館南側において側溝設置工事を行った。東半分は水槽の掘り方内であり、西半分も埋土内で包含層や遺構面に達することはなかった。

写真42 緑地帯削平部分 (北より)

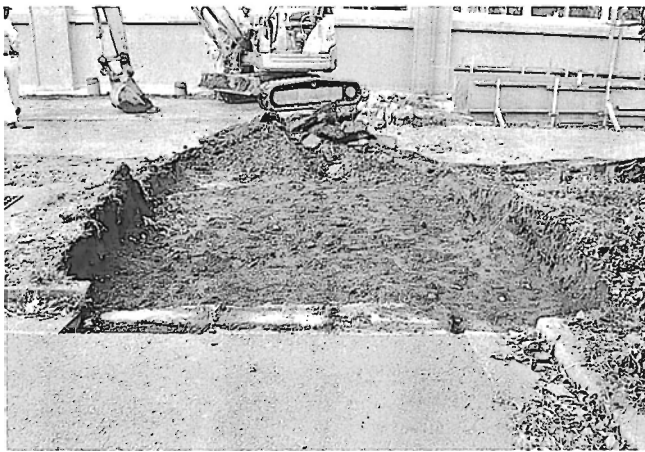


写真43 側溝設置部分 (西より)



15. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0611－⑨)

<調査期間>

2006年10月2日

<調査対象面積>

10.5㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

0611－③で埋設した管の続きである。これを南側にある既設柵に繋ぐ工事である。幅1m、深さ0.7mで掘削したが、埋土内である。包含層・遺構面に達することはなかった。出土遺物もない。

写真44 掘削状況 (南より)



写真45 掘削状況 (北より)



16. 黒髪団地外灯取設その他工事に伴う立会調査 (0623)

<調査期間>

2006年10月10日～12日

<調査対象面積>

26.79㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

4箇所において外灯設置工事を行った。

理学部自然科学研究棟の道路を挟んで東側にハンドホールと外灯1基を設置した。自然科学研究棟からハンドホールへの配線部分（道路横断面部）において、部分的に遺物包含層を確認した。0.5×1.6m、0.5×1.0mの範囲が残っていた。深さ0.4mで包含層を確認した。包含層を慎重に10cm程度下げたが遺構面には達しなかった。工事はこの深さまでの掘削だったため、これ以上の掘削は行わなかった。外灯基礎部分では、1×1mの範囲において、半分が既に破壊を受けており、残り半分において、深さ96cm程度で遺構面を検出した。精査したが遺構は確認されなかった。その他の部分では埋土内の掘削であった。

理学部駐輪場内に外灯を設置し、1号館から電気配線する工事では、道路横断面部分において包含層を検出した。周囲での既往の調査でも、アスファルト下の碎石を除くと、直下が包含層である。道路横断面部分南側、縁石から1.55mと北側縁石から0.75mにおいて包含層が遺存して

写真46 理学部東側作業風景（北より）



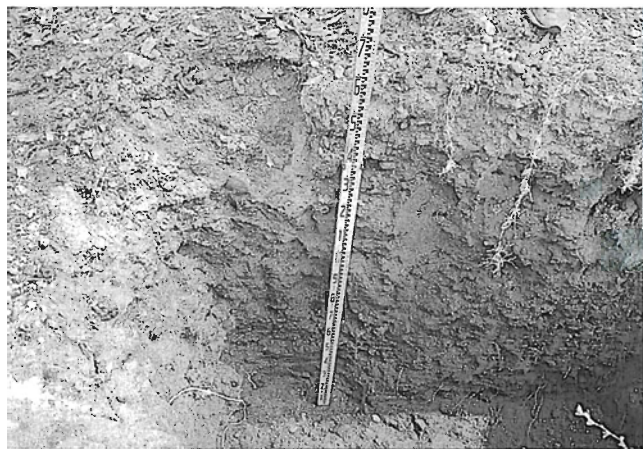
写真47 道路横断面部掘削状況（西より）



写真48 理学部1号館北側道路横断面部掘削状況（南より）



写真49 南地区食堂西側外灯基礎部掘削状況（西より）



いた。遺構面直上まで掘削したが、遺構は検出されなかった。

南地区食堂と水理実験棟の間に外灯1基を設置した。基礎部分において1.5mまで掘削したが、埋土だった。他配線部においても、包含層・遺構面に達することはなかった。

工学部研究棟Ⅱ-1の建物東側植え込みに、小形の外灯を設置した。0.6mまで掘削したが、建物建設時の掘り方内と思われる、包含層・遺構面は検出しなかった。出土遺物もない。

17. 黒髪南地区工学部通用門周辺植栽に伴う立会調査（0630）

<調査期間>

2006年11月20日

<調査対象面積>

15㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

工学部通用門東側の植栽を整備する工事である。門入

口から近傍にある政策創造研究センターのスロープまで、植栽してあった植物を撤去し、新たに植栽のために10～20cmすきとった。最も門に近い部分で20cm程度掘削したが、下からコンクリート基礎があらわれ、攪乱であることがわかった。他の部分でも掘削は埋土内であり、包含層・遺構面に達することはなかった。出土遺物もない。

写真50 掘削状況（南より）



18. 事務局正門樹木植替に伴う立会調査（0632）

<調査期間>

2006年12月1日

<調査対象面積>

3.36㎡

<調査員>

大坪志子

<調査概要・結果>

事務局正門の植木を替えるための掘削である。それぞれ植えてあった樹木を撤去し、予定する深さまで掘削した。事務局に向かって左側の花壇は、40cm程度掘削したが、埋土だった。右側の花壇は60cm程度で、花壇中央に包含層が島状に残っていた。これ以上の掘削は行わず植栽した。

写真51 掘削状況（北より）



19.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－6に伴う立会調査（0612－④）

<調査期間>

2006年12月15日・18日～25日・27日～28日

2007年1月4日～9日

<調査対象面積>

162.7㎡

<調査員>

小畑弘己・大坪志子

<調査概要・結果>

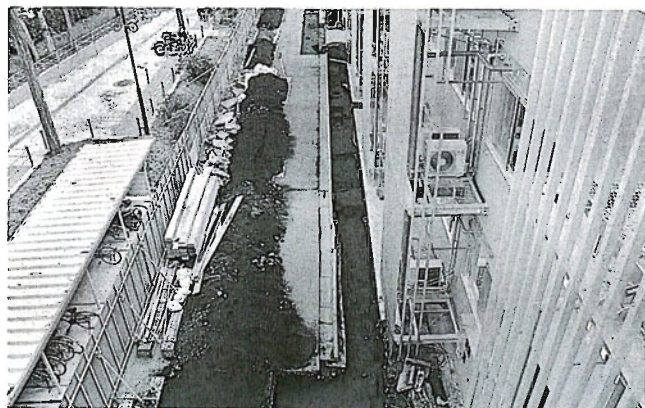
理学部1・2号館の改修に伴い、排水管を配管する工事である。1・2号館西側及び南側では溝・住居址が重複して検出されたが、既往の配管工事による攪乱が激しく遺存状態は悪かった。住居址が重複して検出されたところからは、獣骨が出土した。脇にあった礫の裏には銭が張り付いており、何らかの祭祀を行ったと考えられる。

1・2号館北側では、大溝1条と竪穴住居址2軒、柱穴数個が検出された。大溝は1998年度に調査した9810調査地点で検出した1号溝の続きと思われる。古代土師器・須恵器が出土した。

写真52 理学部1号館西側遺構検出状況（西より）



写真53 理学部1号館北側調査区（西より）



20. 理学部4号館昇降路取設工事に伴う立会調査 (0636)

<調査期間>

2006年1月18日・22日～23日

<調査対象面積>

30.35㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

理学部4号館にエレベーターを設置する工事である。調査区の南側は4号館建設時の掘り方で、その他も現代の工事により既に攪乱されていた。工事予定範囲の北側に幅50cm程度で包含層が遺存していたため、発掘調査に切り替えた。

地表下35cm程度で包含層を検出、地表下60cmで遺構面を検出した。遺存範囲が狭長であったのと、調査区脇にあった樹木の根による影響で、遺構の遺存はほとんど無く、検出した遺構はピットが6個程度である。

土師器・須恵器片が出土した。

21. (黒髪南) 理学部温室取り壊し工事に伴う立会調査 (0643)

<調査期間>

2007年3月8日

<調査対象面積>

101.7㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

理学部温室解体工事に伴い立会調査を実施した。温室は、周囲に水路を廻らせていたため、基礎が予想外に深かった。北東隅から基礎解体を開始した。その結果、地表下70cmまで基礎が入っていたが、直下に包含層が確認された。このため、基礎撤去は可能なかぎり掘り起こさず、引き上げるように行った。温室下の包含層および遺構面は破壊されずに、遺存していることが確認できた。

写真54 1次掘削風景（北西より）

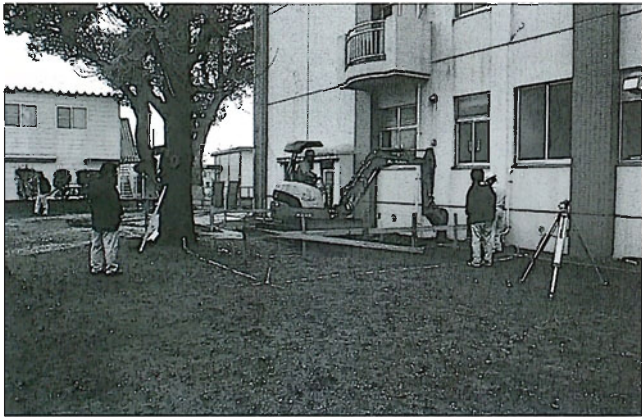


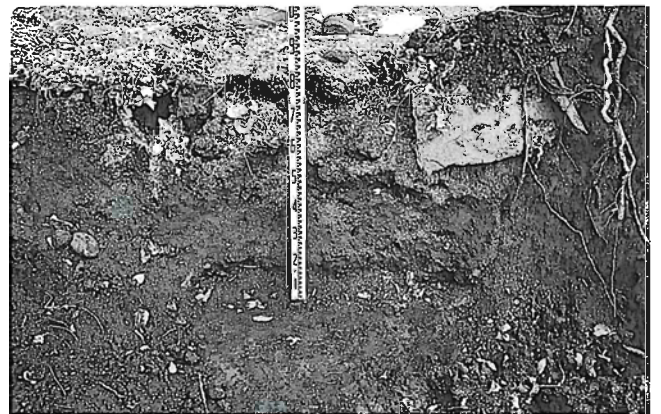
写真56 解体作業風景（東より）



写真55 調査区全景（南より）



写真57 土層状況（南より）



Ⅱ－3 黒髪東地区

(図2参照)

1. 教育学部附属養護学校屋外人工芝張替その他 工事に伴う立会調査 (0619)

<調査期間>

2006年8月21日

<調査対象面積>

420.51㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

教育学部附属養護学校中庭の人工芝を張替えるのに伴い、若干すきとりを行うため立会調査を行った。対象地に十字にトレンチを入れた。深さは20cmである。埋土内で、包含層・遺構面には影響ないと判断した。

写真58 掘削状況（北東より）



写真59 掘削状況（東より）



2. 教育学部附属養護学校ガス漏れ緊急工事に伴 う立会調査 (0635)

<調査期間>

2007年1月10日～12日・19日

<調査対象面積>

13.45㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

養護学校で使用されているガス管で、ガス漏れが発生していることが分かり、熊本市文化財課の許可・指示を受け、急遽ガス漏れ箇所の特定作業を行うことになった。幾つかのガス管に分断してガス漏れ箇所を特定するため、既設管を捜すこととなった。

養護学校ロータリー付近では、ガス管がなかなか発見できず、また障害物が多いため作業が困難な状況が続き、拡張したり場所を変えて掘削した。このなかで、地表下1.1m～1.3mから水田の床土のような土壌を確認した。包含層・遺構面は確認されなかった。

場所を変え、プール側で2箇所ほどトレンチを入れた。ここでも包含層・遺構面は検出されなかった。

ガス管全体が老朽化し、いたるところに穴が開いている状態であった。応急処置したが、全体の配管を入れ替える必要もあり、今後検討するとして、今回の掘削は終了した。今回掘削した範囲を繋ぐ部分では、遺構面・包含層が検出される可能性は低いと思われる。

写真60 ロータリー付近掘削状況（南より）

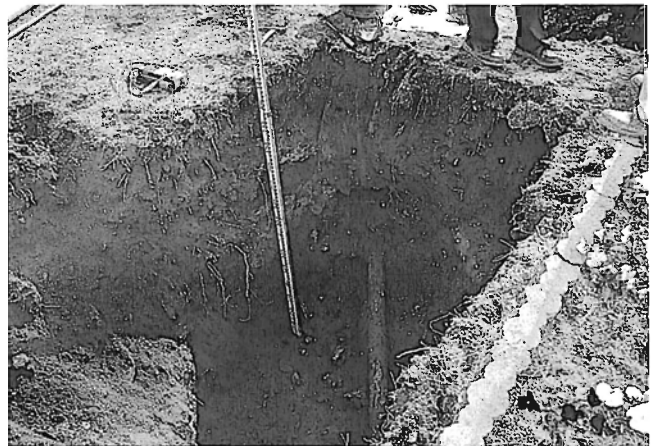
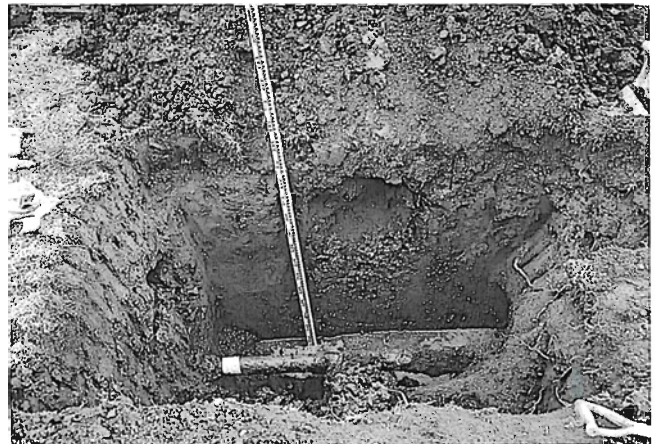


写真61 プール側掘削状況（北より）



Ⅱ－４ 本荘北地区

(図 4 参照)

1. 附属病院中央診療棟新営電気設備工事に伴う立会調査 (0613)

<調査期間>

2006年 6 月19日

<調査対象面積>

72.4㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

建設中の中央診療棟から、建物南西部にあるハンドホールに電気配線する工事である。周辺は後の駐車場整備のため盛土を行う予定であり、掘削する深さは予定より浅くなった。

東西ルート及び新設のハンドホールは1.3m前後、南北ルートは1mの深さで掘削を行った。幅はいずれも2mである。掘削は中世以降と思われる砂質土層の上面までであり、遺物包含層や遺構面には達しなかった。出土遺物もない。

写真62 作業風景 (南より)



写真63 掘削状況 (南より)



2. 附属病院中央診療棟新営機械設備 (衛生) 工事に伴う立会調査 (0615)

<調査期間>

2006年 6 月22日・28日

7 月 3 日

<調査対象面積>

153㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

排水桝・排水管設置のための工事である。建設中の中央診療棟から、建物南西にある既設の汚水桝に配管し、途中に桝を6箇所設置した。掘削は南から行い、桝に順次番号をつけた。

桝①では、2.0mまで掘削した。この深さで、包含層の上面を検出した。工事による掘削はここまでである。桝②は1.5mの掘削で、埋土内である。桝③は1.6mまで掘削、桝④も1.3mまで掘削したが、いずれも埋土内である。桝⑤⑥も1.6m掘削したが、桝⑤⑥は、移設した山崎記念館の掘り方内に相当し、文化財への影響は無かった。

写真64 掘削状況 (南より)



写真65 桝部分掘削状況 (東より)

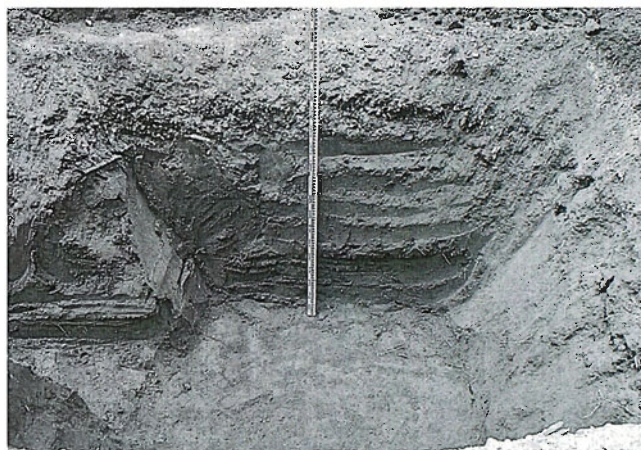
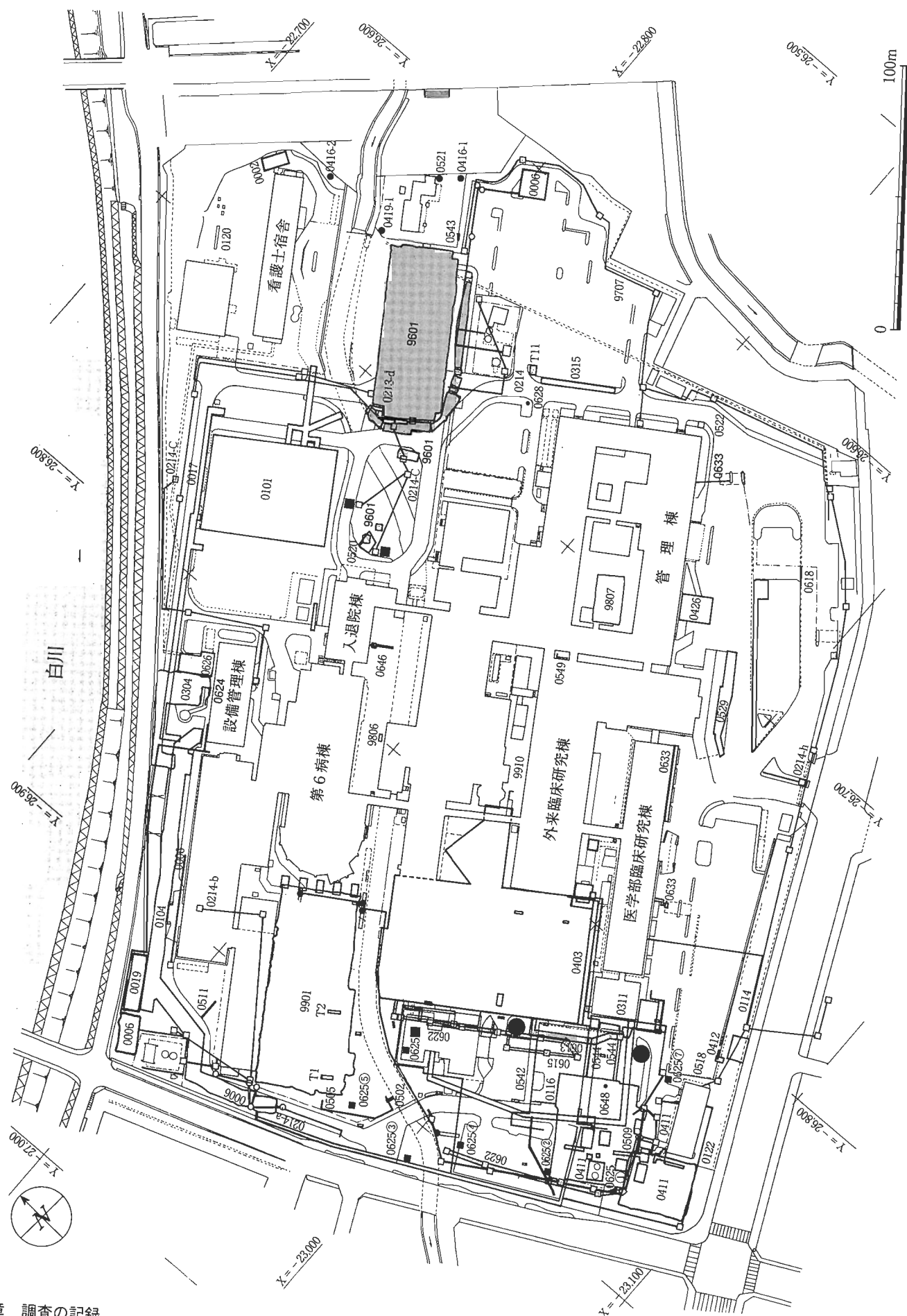


図 4 本荘北地区における調査地点配置図 (1/2000)



3. 医学部附属病院駐車場側溝修理工事に伴う立会調査 (0618)

<調査期間>

2006年8月11日

<調査対象面積>

8.75㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

附属病院正門側駐車場ゲート付近の側溝について、幅・深さを拡張する工事である。既存の溝を壊しながら深さ0.7mまで掘削したが、埋土内であった。出土遺物もない。

写真66 作業風景（北西より）



写真67 掘削状況（東より）



4. (医病) 環境整備（西側駐車場等）に伴う立会調査・発掘調査 (0622)

<調査期間>

2006年10月2日・16日・27日・30日

11月13日

<調査対象面積>

8,077.5㎡ (50.68㎡)

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

中央診療棟の建設後その西側に駐車場を整備する工事である。9箇所ほどを掘削し、建設予定地内の全体的な遺構の残り具合を把握することとした。

人孔No.6では地表下2.1mで包含層が検出された。遺構面は地表下2.3mの部分にあたる。土師器細片1片が出土した。

枡No.56の地点では地表下1.5mで粘性の強い近代の溝もしくは埋め土と思われる層を確認、地表下2.2mまで下げると近代の陶磁器や瓦片が出土した。

人孔No.9では地表下2mまで下げたが、途中1.5mの深さで上記枡地点と同じく近代陶磁器が出土した。

枡No.20の地点では地表下1.3mまで掘り下げたが砂層と褐色の砂質土の互層であり、遺物・遺構ともに検出できなかった。

枡No.9の地点は地表下1.4mまで下げるが、途中この一帯の台地で検出される古代遺物包含層である黒褐色土層が確認できたため、精査したが遺物や遺構は検出できなかった。

枡No.31の地点は地表下1.3mまで下げたが、大部分がゴミ穴で攪乱されており、わずかに破壊されていない部分で砂質土が検出され、遺物・遺構ともに発見できなかった。

予定地内の中央部に位置しているクスノキの大木の根を抜く工事では1.9mほど掘削したが、砂質土のみで、遺構・遺物ともに検出していない。

おそらく山崎記念館の北側から中央診療棟にかけては深い谷が入っており、地表下2mほど下げても近代の遺物が出るのみで、古代の遺構面には達していない。これに対して南東部では地表下1.8mほどで遺構や遺物包含層が検出されるという状況である。

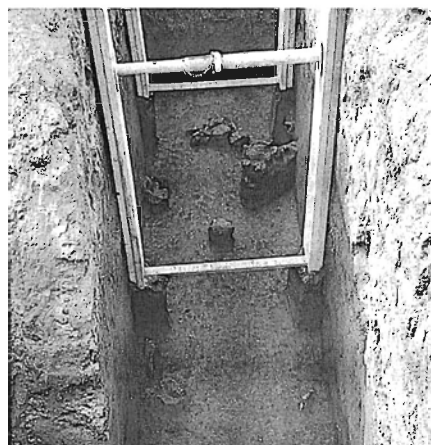
写真68 作業風景（南東より）



写真69 調査区全景（西より）



写真70 遺物出土状況（東より）



5. 附属病院設備管理棟アキュムレータードレン管漏れ修理に伴う立会調査（0624）

<調査期間>

2006年10月13日

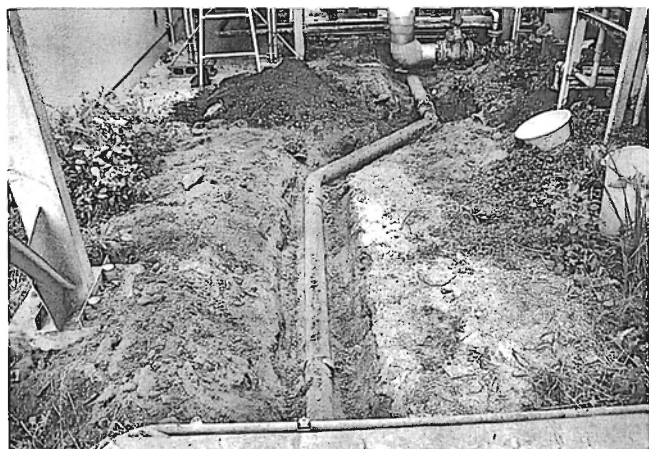
<調査対象面積>

2.16㎡

<調査員>

大坪志子.

写真71 掘削状況（西より）



<調査概要・結果>

附属病院設備管理棟北側で、アキュムドレン管の補修を行った。埋設している部分について掘削し既設管を捜した。深さ0.4mまで掘削したが埋土内であり、包含層・遺構面には達しなかった。出土遺物もない。

6.（医病）基幹・環境整備（外灯）工事に伴う立会調査（0625）

<調査期間>

2006年10月16日

<調査対象面積>

296.4㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

外灯を設置する7箇所について立会調査を行った。山崎記念館の南西隅に位置する外灯①、北西隅に位置する外灯②は、それぞれ1.7、1.4m掘削したが、埋土内であった。西門右に位置する外灯③は、配管や電気配線などにより攪乱を受けていた。外灯④は対象範囲の南半で1.2mの深さで地山（遺構面）と同じ土壌を検出した。

写真72 外灯②基礎掘削状況（南より）

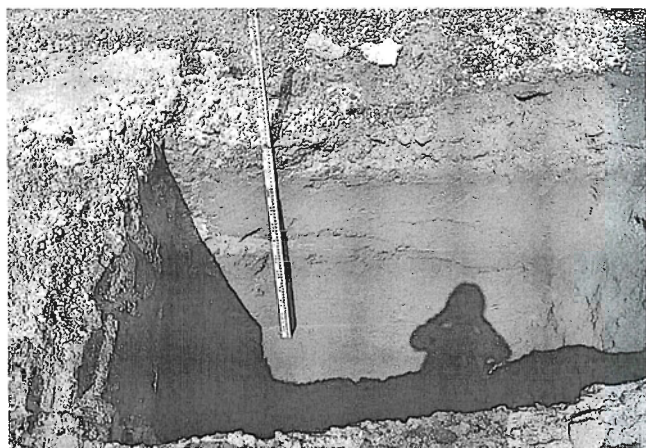
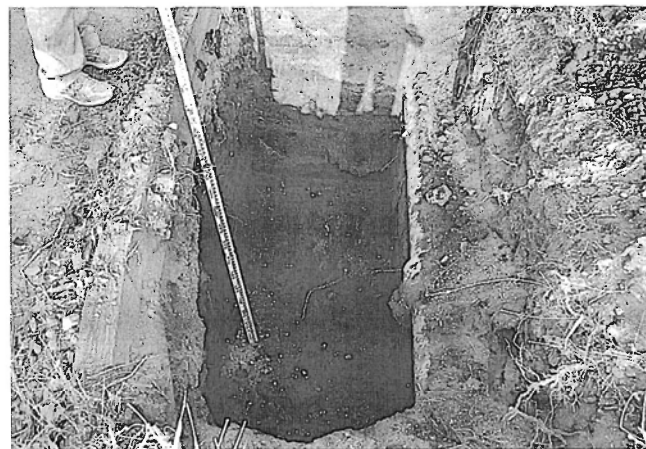


写真73 外灯⑦基礎掘削状況（西より）



ガラ等の汚染はないが、地山の下にある基盤層のブロックを含んでいた。遺構はない。外灯⑤は1.5～1.6m掘削したが、アスファルト下が60cm程度現代埋土で、以下は黒色の砂が堆積していた。ハンドホール⑥は1.3m掘削したが埋土内であった。外灯⑦は1.5mまで掘削した。地山土が確認されたが、ガラが混入しており周辺の状況から一度起こした土であると判断される。

いずれの地点においても埋土内の掘削であった。配管部はこれらより浅い掘削であり、包含層・遺構面には影響ないと判断した。

7. (医病) 基幹整備 (ボイラー設備他更新) 工事に伴う立会調査 (0626)

<調査期間>

2006年10月19日

<調査対象面積>

106.7㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

現在あるボイラー設備を撤去し、新しくコンクリート基礎を設けてボイラー設備を設置する工事である。

範囲内を30cm程度掘削した。西半分では土壌が検出されたが、現代埋土である。東半分はこれより深く碎石が敷いてあった。これ以上の掘削は必要ないため、包含層・遺構面には影響はなかった。

写真74 掘削状況 (南東より)



8. 医学部附属病院管理棟北側外灯撤去工事に伴う立会調査 (0628)

<調査期間>

2006年11月2日

<調査対象面積>

2.8㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

外灯の撤去工事に伴い立会調査を行った。1.7×1.66mの範囲で、西側半分を90cm程度掘削し、基礎を引き抜いた。掘削は埋土内であり、周囲の包含層・遺構面にも影響はなかった。

写真75 掘削状況 (南より)



9. (医病) 環境整備 (救急棟改修) 機械設備工事に伴う立会調査 (0646)

<調査期間>

2007年3月20日

<調査対象面積>

5.77㎡

<調査員>

大坪志子.

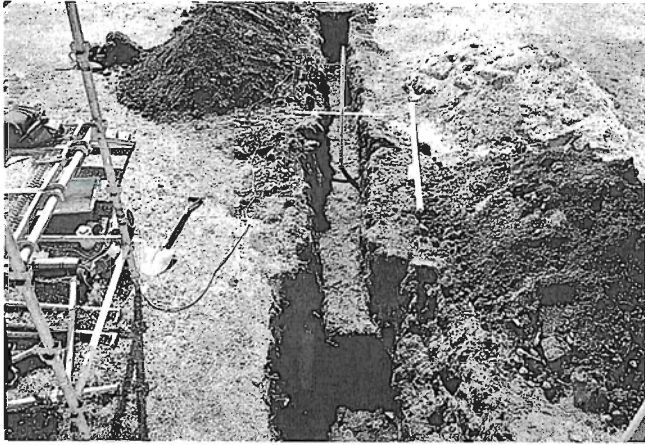
<調査概要・結果>

救急棟から屋外の既設桝に排水管を配管する工事である。新設桝部分を1.25×1.55m、深さ1.0m掘削、配管部は幅0.4、深さ0.6mで掘削した。桝部分では以前の構造物の残骸が検出され、既に攪乱を受けていた。配管部

写真76 作業風景 (東より)



写真77 掘削状況（北より）



も埋土内であり、包含層や遺構面に達することはなかった。

10.（医病）環境整備（山崎記念館外部改修）工事に伴う立会調査（0648）

<調査期間>

2006年3月26日

<調査対象面積>

1.15㎡

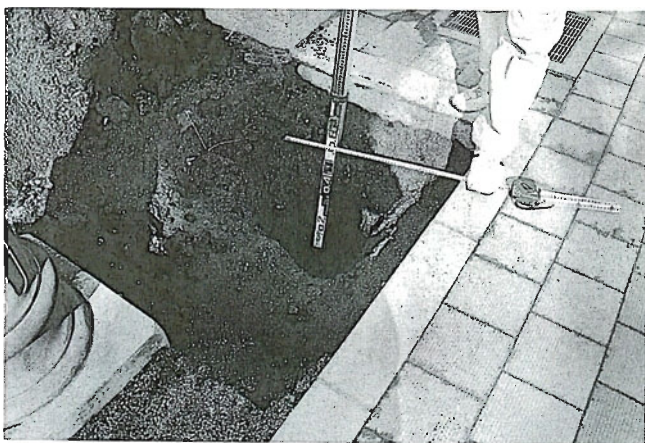
<調査員>

大坪志子

<調査概要・結果>

移設した山崎記念館の正面玄関に、案内板を設置する工事である。設置場所は山崎記念館移設に伴い2005年に調査した範囲内であり、埋蔵文化財への影響はない。

写真78 作業風景（東南より）



Ⅱ－5 本荘中地区

（図5参照）

1.（本荘中）医学部門衛所取り壊し工事に伴う立会調査（0641）

<調査期間>

2007年3月1日

<調査対象面積>

52.42㎡

<調査員>

大坪志子

<調査概要・結果>

上屋は先行して解体し、土間の撤去から立会調査を行った。基礎撤去のため、基礎（建物）内側を掘削したところ、80cmの深さで水田の床土のような土層を確認した。近接する0403調査地点でも同様な土層を確認しており、古代包含層上部に相当する可能性があった。工事担当者と協議した結果、基礎の上部を地表下30cm程度まで割り取り、他はそのまま残すことにした。

写真79 作業風景（南西より）



写真80 掘削状況（南東より）

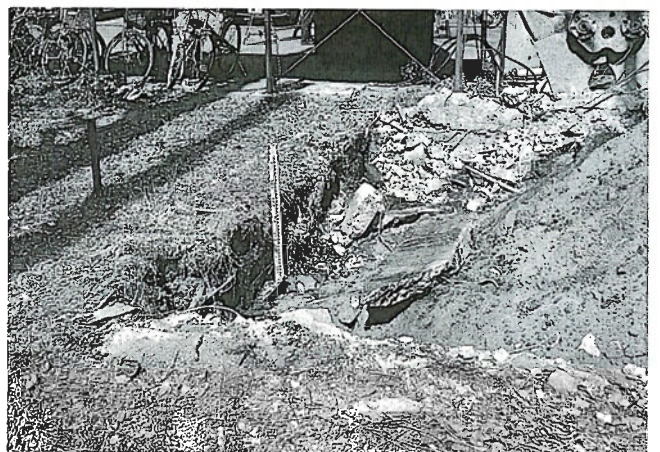
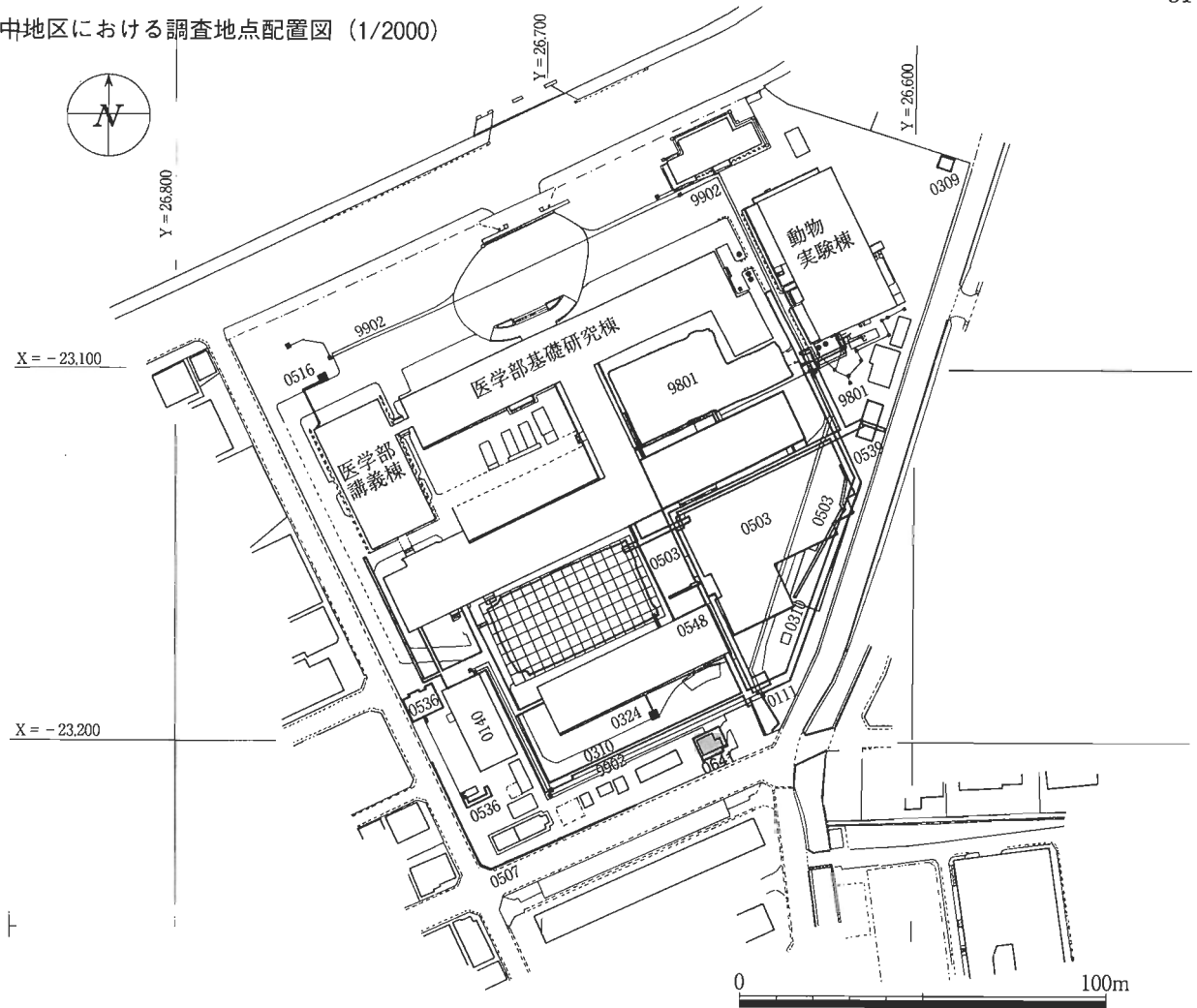


図5 本荘中地区における調査地点配置図 (1/2000)

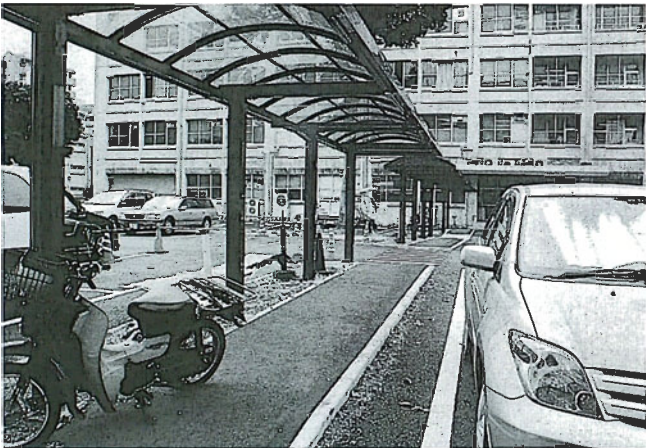


Ⅱ－6 本荘南地区(九品寺地区) (図6 参照)

1. (黒髪) プール附属家等環境配慮改修 (アスベスト処理) 工事に伴う立会工事 (0617)

<調査期間>
2006年 8月11日
<調査対象面積>
0.59㎡

写真81 調査地点近景 (北より)



<調査員>
大坪志子.

<調査概要・結果>
事業名は黒髪地区であるが、保健学科に仮設の電柱を3本立てる工事を行った。1.1m程度の深さで掘削したが、いずれも埋土内であった。

写真82 掘削状況 (南より)

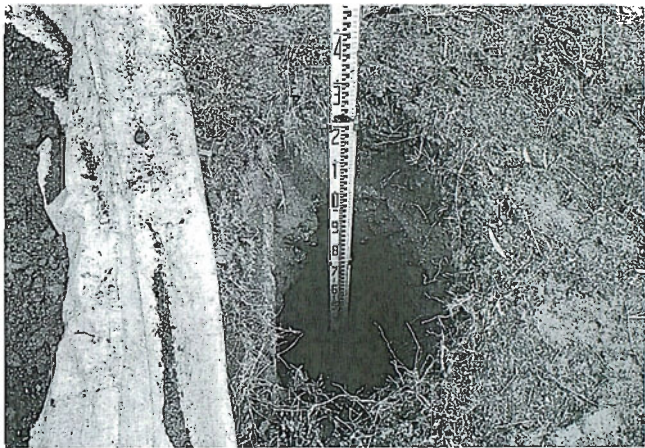
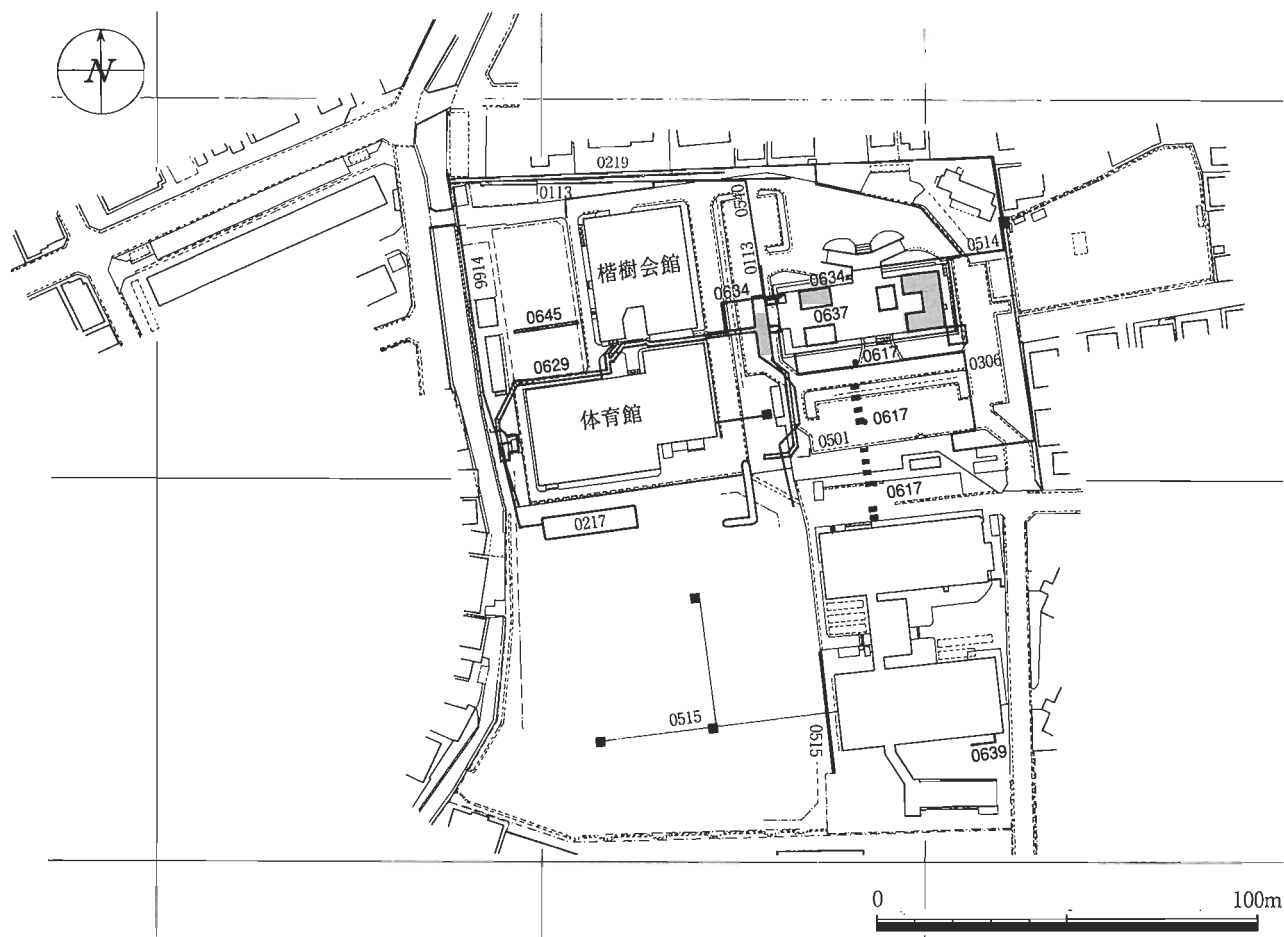


図 6 本荘南地区における調査地点配置図 (1/2000)



2. (本荘) 医学部保健学科校舎改修電気設備工事に伴う立会調査 (0629)

<調査期間>

2006年11月17日・27日
12月4日

<調査対象面積>

239.4㎡

写真83 トレンチ1掘削状況 (北より)



<調査員>

小畑弘己・大坪志子.

<調査概要・結果>

1 トレンチは地表下80cmほどを掘削したが建物基礎・埋設管の掘り方などで攪乱を受けていた.

2 トレンチは地表下75cmまで掘削したが、埋土内にとどまる.

写真84 トレンチ4掘削状況 (北より)

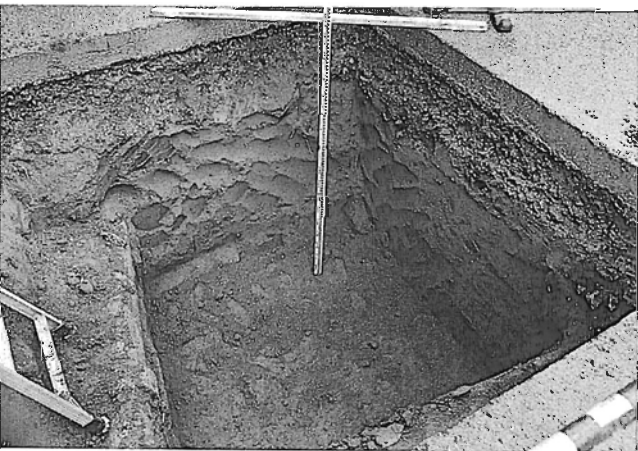


写真85 トレンチ5作業風景（南より）



3 トレンチは地表下70cmまで掘削したが、土管の掘り方内にとどまる。

4 トレンチは地表下1.7mまで掘削したが、砂質層が堆積しており、包含層・遺構面は検出されなかった。

5 トレンチは地表下80cmほど掘削したが、基礎による攪乱を受けており、その下30cmほどさらに掘削したが、砂質土が続いていた。

上記すべての地点において遺構・遺物は検出されなかった。

3.（本荘）医学部保健学科校舎改修機械設備工事に伴う立会調査（0634）

<調査期間>

2006年12月25日

2007年4月2日

<調査対象面積>

113.36㎡

<調査員>

大坪志子。

<調査概要・結果>

楷樹会館と体育館の間から、遺伝発生医学研究棟まで給水管を配管する工事である。西側の体育館側から掘削した。道路横断部分においては地表下0.8mで包含層を検出したため、工事は0.8mより浅い掘削で行うことにした。L字に曲がって北に伸びるルートでは0.9m掘削したが、埋土内であった。工事予定の東半分は、同保健学科校舎改修工事の電気工事（0629）で同様の地点を掘削しており、この際には1.3m～1.7mまでは埋土を確認している。今回は1m以上の掘削は行わないとのことで、東側半分については慎重な工事を指示した。

また、遺伝発生医学研究棟入口西側で、0.5×0.9mの掘削を行ったが、地中梁や既設管などがあり、掘削範囲内は埋土（攪乱）内であった。

写真86 作業風景（南より）



写真87 掘削状況（南より）



写真88 遺伝発生医学研究棟トレンチ（南より）



4.（本荘）医学部保健学科校舎改修工事に伴う立会調査（0637）

<調査期間>

2007年1月30日・4月6日

<調査対象面積>

341.2㎡

<調査員>

大坪志子。

<調査概要・結果>

校舎地下の土間を撤去・補強、柵を撤去・再設置を行う工事と、建物外に階段を設置する基礎部分について立会調査を行った。

校舎地下の土間等の工事については、建物東西南北の4箇所について調査した。地階であるため本来の地表を数m掘削しており、すでに包含層・遺構面は建物建設時に消失していた。

階段基礎部分は0.45m掘削したが、埋土内であり、包含層・遺構面には達しなかった。

写真89 地下ピット掘削状況（西より）

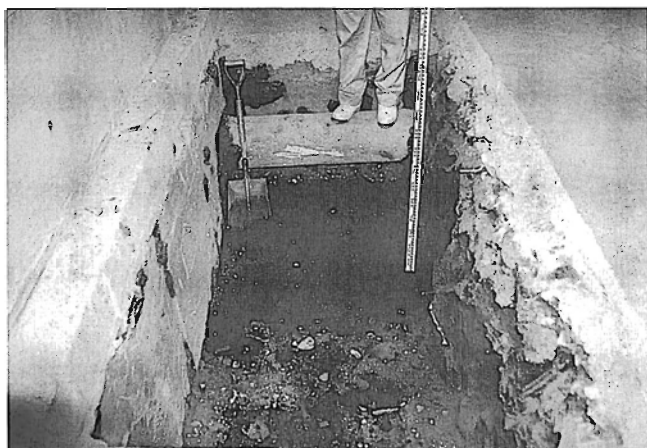
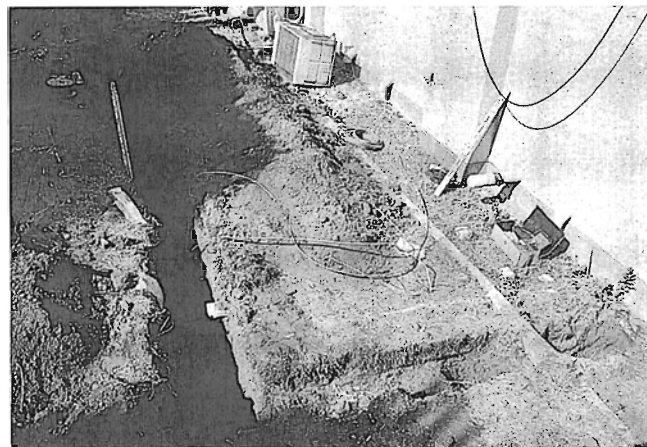


写真90 階段基礎部掘削状況（西より）



0.5×6.3mの溝を掘削した。当初は21mの予定であったが、電気については6.3mで対応可能ということで範囲を縮小した。深さは0.5mで、埋土内の掘削であり包含層・遺構面には達しなかった。出土遺物もない。

写真91 掘削状況（西より）



6. 本荘南地区テニスコート埋設給水管漏水工事に伴う立会調査（0645）

<調査期間>

2007年3月12日

<調査対象面積>

763㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

水道管の漏水部を探すため、既掘削部を水道管理設ラインに沿って地表下-1.5mほど掘り下げた。漏水部がコート西側から2mほどのところで発見されたが、水道管の交換が必要となり、テニスコート横断部すべてを替换えることとなった。このため、既掘削部を含め幅1mほど、深さ-1.5mほど掘り下げていった。地表下50cmほどは埋め土（テニスコート造成土）であり、その下は-1.5mまで暗褐色の粘性のある土であった。遺物・遺構ともに掘削部では発見できないため、慎重に工事を進めるよう指示した。

5.（本荘）医学部保健学科校舎CT用接地工事に伴う立会調査（0639）

<調査期間>

2007年2月20日

<調査対象面積>

4.35㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

接地工事のため、校舎建物から2.4mはなれた地点に

Ⅱ－7 城東地区

1.（教）附属幼稚園園障改修工事に伴う立会調査（0647）

<調査期間>

2007年3月22日

<調査対象面積>

25.7㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

敷地境界のブロック塀の内側を掘削し、基礎と擁壁を設けてブロック塀を補強する工事である。2箇所にトレンチを入れて調査を行った。トレンチ1では予定の幅・深さを掘削したが、埋土内であった。トレンチ2では予定幅の北半分がブロック塀設置時の掘り方で、南半分が砂質土層であった。工事予定の深さまで掘削したが、土層は同様の状況で、包含層・遺構面は検出されなかった。出土遺物もない。

写真92 作業風景（南より）



写真93 掘削状況（南より）



Ⅱ－8 大江地区（薬学部）（図7参照）

1. （大江地区）雨水設備工事に伴う立会調査（0627）

<調査期間>

2006年10月25日

<調査対象面積>

0.24㎡

<調査員>

大坪志子.

<調査概要・結果>

既設の雨樋と雨水樹を繋ぐ工事である。幅0.4m、深さ0.35mで掘削したが埋土内であり、包含層・遺構面には達しなかった。

写真94 作業風景（南より）



写真95 掘削状況（西より）



2. 大江団地（南地区）西側困障改修工事に伴う立会調査（0644）

<調査期間>

2007年3月8日

<調査対象面積>

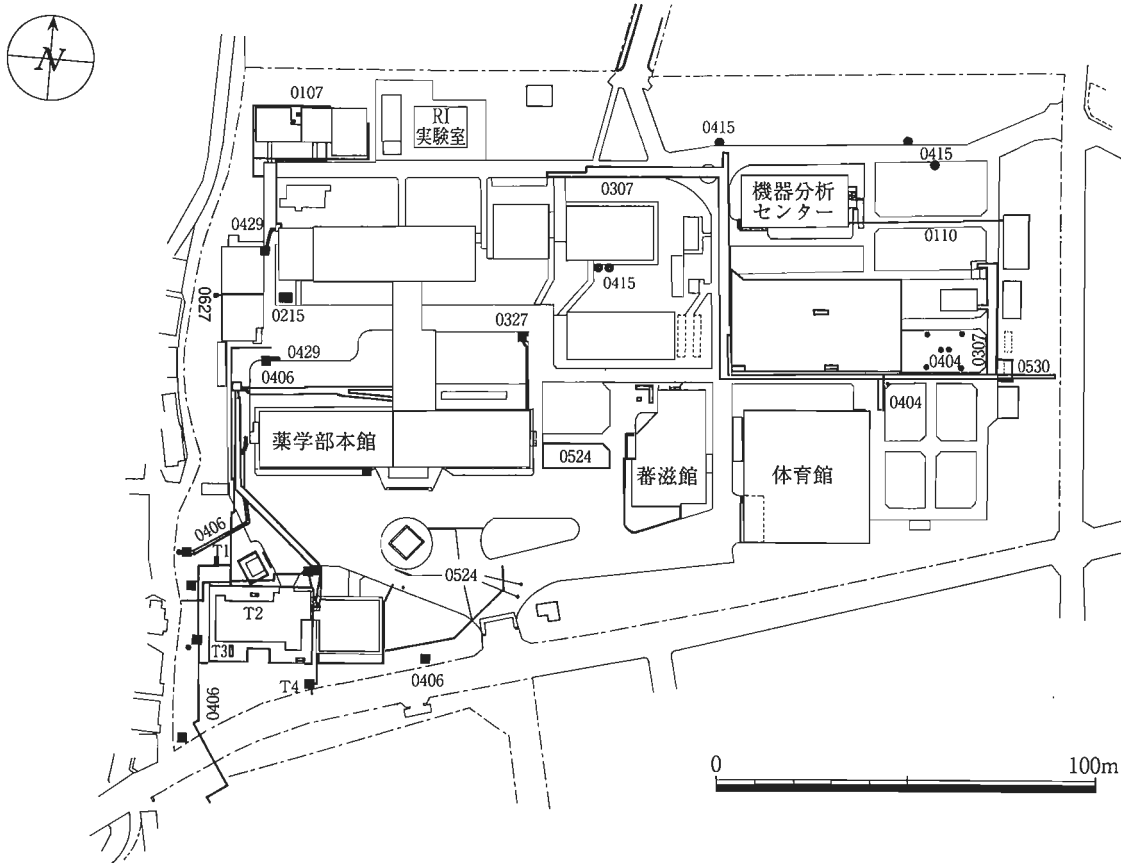
55.28㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

壁改修部の東西端2箇所にトレンチを設定し、土層の状態を確認した。北側のトレンチ1（0.5×1.0m）では-40cm程で基礎が現れた。それまではすべて埋め土であった。また、南側のトレンチ2（0.5×0.5m）では-30cm程で基礎が現れ、同じくそれまではすべて埋め土で



あった。この部分は比較的淘汰のよいきれいな黒褐色の土であった。遺物・遺構は発見していない。工事の以前の基礎用の掘削部の上部を掘る範囲にとどまるため、他の個所については慎重に工事を進めるよう指示した。

35㎡

<調査員>

大坪志子。

<調査概要・結果>

ゴミ置場設置に伴い、基礎部分の掘削を行った。設置場所の周囲を溝状に0.2m掘削した。場所は傾斜しているが、掘削は傾斜に合わせている。埋土内であり包含層・遺構面は検出されなかった。

写真97 掘削状況（南東より）



2. 宇留毛団地災害復旧工事に伴う立会調査 (0642)

<調査期間>

2007年3月6日

Ⅱ－9 宇留毛地区

1. (宇留毛) ゴミ置場取設工事に伴う立会調査 (0638)

<調査期間>

2007年2月1日

<調査対象面積>

写真96 作業風景（東南より）



<調査対象面積>

134.82㎡

<調査員>

小畑弘己・大坪志子.

<調査概要・結果>

宇留毛団地内にある国際交流会館B棟北側の崖面において、土砂崩れが発生した。崩れた部分で再度法面・石垣整備を行うための工事である。階段状になった崖面上端と法面の一部を削平し、その際に立ち会ったが、包含層・遺構面などは検出されず、出土遺物もない。

Ⅱ－10 京町地区

(図8参照)

1. 教育学部附属中学校テニスコート移設工事に伴う立会調査 (0601)

<調査期間>

2006年4月11日

<調査対象面積>

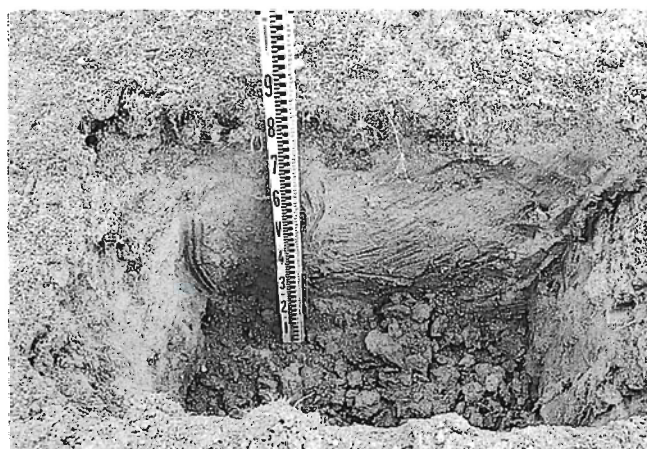
5.94㎡

<調査員>

写真98 移設先作業風景 (東より)



写真99 掘削状況 (東より)



小畑弘己.

<調査概要・結果>

テニスコートのネット支柱を抜き、新たに移設する工事である。新たに埋設する部分の掘削深度は、地表下60cmほどであり、黄褐色ローム面まで達したが、掘削範囲内では遺構・遺物ともに検出されなかった。

2. 教育学部附属小学校遊具新設工事に伴う立会調査 (0610)

<調査期間>

2006年5月2日

<調査対象面積>

0.98㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

遊具の柱用の穴を地表下85cmまで掘削したが、遺構・遺物ともに検出されなかった。

写真100 作業風景 (南より)



写真101 掘削状況 (西より)

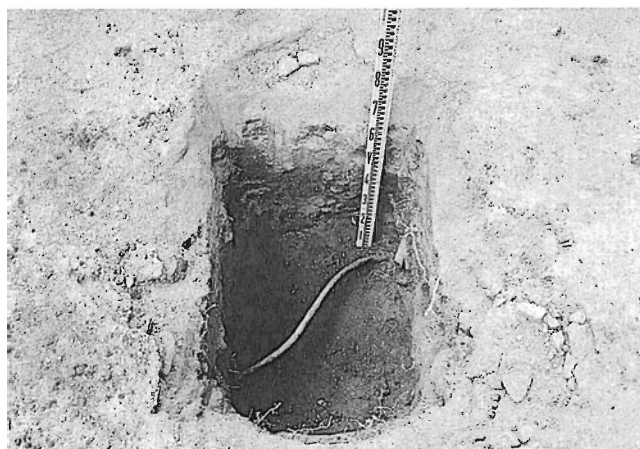
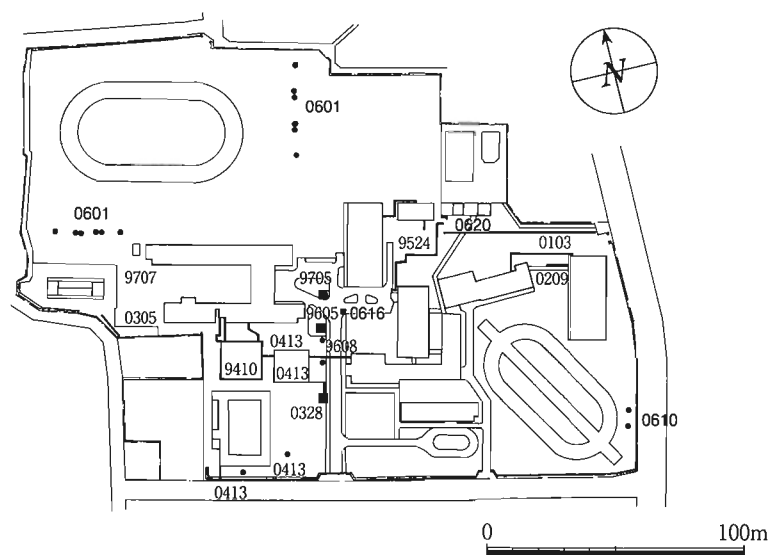


図 8 京町地区における調査地点配置図 (1/3000)



3. 教育学部附属中学校給水管補修工事に伴う立会調査 (0616)

<調査期間>

2006年 8 月 7 日

<調査対象面積>

1.7㎡

<調査員>

大坪志子.

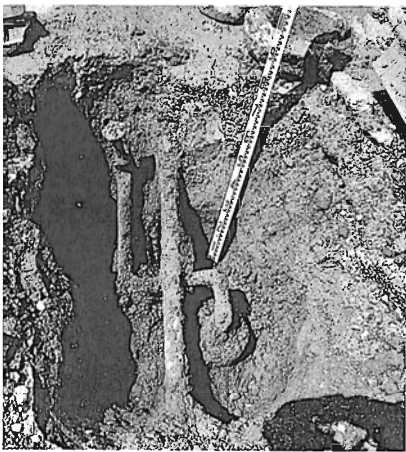
<調査概要・結果>

1.1×1.55mの範囲を掘削した。地表下40cmほどで水

写真102 作業風景 (西より)



写真103 掘削状況 (南より)



道管が発見されたが、工事作業のため地表下60cmまで掘削した。この部分で遺物包含層に似た淘汰のよい土が出てきたが、遺構・遺物ともに発見されなかった。掘削深度内では地山には達していない。

4. 教育学部附属小学校プール系統給水漏水補修工事に伴う立会調査 (0620)

<調査期間>

2006年 9 月 7 日

<調査対象面積>

2.8㎡

<調査員>

小畑弘己.

<調査概要・結果>

水道管の漏水のため緊急に対応した工事立会である。地表下80cmほどで水道管が検出され、作業のため水道管の埋設部に沿って幅60cmでT字状に1.7mずつ掘削した。すべて埋設管の掘り方内であり、遺構・遺物ともに検出されなかった。

写真104 掘削状況（南西より）



<調査概要・結果>

防火水槽は、上から50cm程度を割り取り、残りは埋めてしまう工事であった。内側から破碎機をあて、内側へ引き落とすようにして工事を行ったため、周囲の掘削はほとんど発生しなかった。埋土内での工事であり、包含層・遺構面への影響はなかった。

写真105 作業風景（北東より）

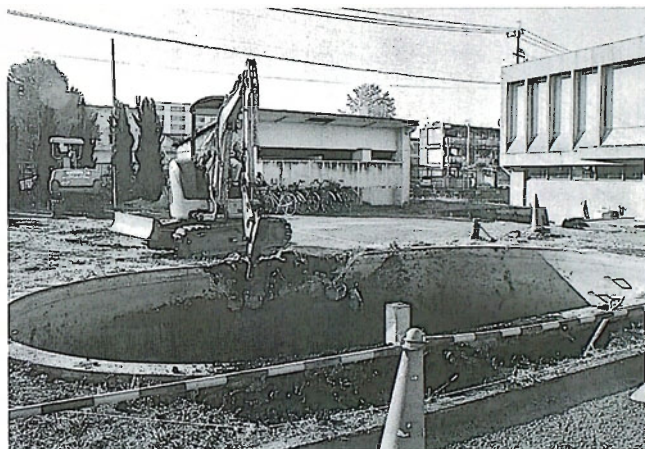
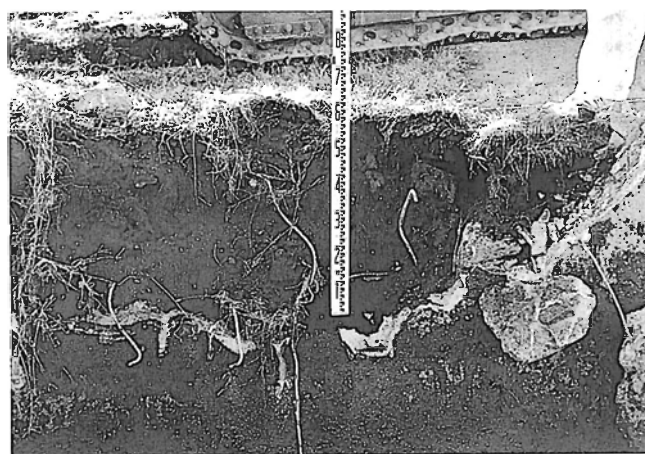


写真106 破碎状況（北より）



Ⅱ-11 渡鹿地区

1. 渡鹿団地防火水槽撤去工事に伴う立会調査 (0631)

<調査期間>

2006年11月30日

<調査対象面積>

15㎡

<調査員>

大坪志子.

跋 文

平成18年度は埋蔵文化財調査室にとって一区切りの年であり、嬉しいことがあった年であり、将来を考えさせる年でもあった。

一区切りの年、というのは情報ネットワーク館（大学図書館南棟・放送大学熊本学習センター）の建築にともなう事前調査が終了し、これを担当した檀佳克さんが報告書を完成させて、本室を去られたからである。檀さんはこの調査のために、平成17年1月に八女市教育委員会から本室に急遽移籍し、3年間の業務に就かれた。遺跡が竈をもつ古代（7～9世紀）の家のあとを覗かせつつあるころ、新学期が始まった。生々しい「本物」を学生に見せたくて、わたしは調査中に数度邪魔をした。人のいい檀さんは、忙しい中にもあちこち指差しながら丁寧に説明して、教育に一役かってくれた。調査室の助人としてその役割を全うされた檀さんに感謝したい。

秋には、本室の実質的なリーダーである小畑弘己さんが、岩宿文化賞を受賞された。この賞は、昭和24年群馬県岩宿遺跡が発見され日本列島に旧石器時代の存在を知らしめたことを記念して、遺跡のあるみどり市（旧笠懸町）が平成4年に創設したもので、すぐれた旧石器時代研究者に与えられる有名な賞である。授賞式翌日の新聞記事を引用しておこう。「受賞したのは『シベリア先史考古学』などの著作で知られる熊本大学助教授の小畑弘己さん。同大在学中から九州の細石器文化研究を進め、やがて極東やシベリアへと対象を広げ、大陸的な視点から環日本海地域の人類文化研究に一石を投じた。また1996年からは同大助教授として阿蘇地域の遺跡群発掘調査を行い、阿蘇産黒曜石の原産地発見など、旧石器時代の研究に大きく貢献した。」（読売新聞 群馬東13版11月4日）。すぐれた研究者によって構内遺跡が調査されていることを、大学は誇りにしていいたいと思う。

11月3日から翌年の1月28日まで、五高記念館に機会をいただき、「熊本大学を発掘する」と題した企画展を開催した。調査室が開室して12年、初めての試みであった。白川が蛇行し流れる兩岸にある大学の複数の敷地には、先史時代から近世まで遺跡が折り重なっている。崎元学長をはじめとして学内外から多くの見学者をえたが、遺物を前にした多くの方々は足元の地下の歴史を知って一様に驚いておられた。しかしいまさら驚かれるのは、少なすぎなくもある。成果公表のための常設の空間が欲しいと思った。また期間中ワークショップ「縄文時代の勾玉を造ろう」と、展示内容にかかわる講演会を開催した。ワークショップは、大坪志子さんと小畑さんの企画であるが、二人は凝り性で完全主義者である。その勾玉造りは素材も技術も、博物館などでよくみることの勾玉造りより格段に本格的で、おそらく縄文人の行為に近いとみられるものだった。ワークショップの終わり頃に会場をのぞいた私が見たのは、手を赤くした参加者と、額に汗して参加者の勾玉を仕上げてやっている二人の姿であった。

学内調査の成果を還元して、大学を発掘する小さな部屋の存在をもっと知ってもらいたい、本室の将来を考えながらこういう思いを強くした平成18年であった。

平成18年度事業の推進にあたって、施設部をはじめとする学内関係部局・埋蔵文化財調査委員会および学外関係機関のご協力・ご支援をいただいた。最後にあたり感謝申し上げたい。

埋蔵文化財調査室長

文学部教授 木 下 尚 子

Summary

In 1985, Kumamoto University planed reconstruction of campus. But it was known that some of campus is designated as buried cultural assets zone. In the fiscal year 1994, Kumamoto University formed the Archaeological investigation committee and the Archaeological Operation Office in haste, and has been excavating the campus sites when the superannuated school buildings were rebuilt since then.

We have two main campus sites at another areas. The one is the Kurokami area where is constituted of faculty of science and faculty of Engineering (south area), faculty of Education, faculty of Laws, and faculty of Letters (north area), and locates in Kurokamimachi site. The site is located at the foot of Mt. Tatuta (above 151.6m) on a low terrace (above sea level 18~25m) formed by the Shirakawa River. The site is regarded as an ancient station "Kokai". The other one is the Honjo area where is constituted of School of medicine, college of Medical Science (south area), and Kumamoto University hospital (north area), and belong to Honjo site. The site located on a low terrace (above sea level 12~13m) formed by Shirakawa River, similar to Kurokamimachi site. It is 2km from Kurokamimachi site to Honjo site in a straight line. In the circumstance of Honjo site, there are large ancient settlement sites like Oe site and Shinyashiki site.

The number of investigations in the current year is the following : 7excavations, 52presence investigations and 2trial excavation as of March 31. The main results are the following.

At 0612④excavation spot in the Kurokamimachi site, we excavated the site before the repair work of the school buildings of Faculty of Engineering and Science. We excavated some ditches and postholes and pit dwellings of ancient times. We got potteries of ancient times and animal bone, gravel, coin which was used for worship. The big ditch we found at 0612④ excavation spot is a part of ancient ditch that was excavated at 9810 spot. So we affirm that settlement we found at 9810 spot extend north.

At 0603·0604excavation spot in the Kurokamimachi site, we excavated the site before the repair work of the Archives of the Fifth High school. The excavated area was very small and destroyed by modern construction, we couldn't understand the site enough. But we knew that there is layer containing cultural remains and structural remains around the Archives of the Fifth High school in good condition.

At 0622excavation spot in the Honjo site, we excavated the site before repair environment of around the new ward. This excavation point is located around the 0411·0509excavation point. As the result of excavation, we found no structural remains, but a few ancient time potteries.

Though each scale of these excavations in current year was small, we got the result to demonstrate our previous excavations. We recognize again wile there are destroyed places by modern constructions, but the features remain on each campus well.

We got new facts at every excavation, but there are many ambiguous points about a scale and character of the site, too.

So we will do best to make it obvious the whole aspect of these sites from now on, too.

구마모토 대학은 건물이 낡아서 1985 년 부터 재건축 계획을 세우고 있었으나, 대학이 있는 구내지역이 유적 포함지로 지정되어 있다는 사실을 알게 되었다. 그 때문에 재건설을 하기 전에 매장문화재의 발굴조사를 위해 급거 조사위원회와 조사실을 편성해, 1994 년 부터 조사를 해 왔다.

구내지역의 유적은 크게 두 지구로 나누어진다. 하나는 공학부·이학부(남지구), 교육학부·법학부·문학부(북지구)가 자리한 쿠로카미<黒髪>캠퍼스로, 쿠로카미마치(黒髪町) 유적의 일부에 해당한다. 이 유적은 타쓰타산(立田山)(표고 151.6m)기슭의 저위하안단구(표고 18~25m)상에 위치하며, 고대 코카이(蛭養)의 역전으로 추정되고 있다. 또 하나는 의학부·의료단기대학(남지구), 대학부속병원(북지구)이 자리한 혼조(本庄)캠퍼스이다. 이 지구는 혼조(本庄)유적의 일부이며, 쿠로카미마치유적과 마찬가지로 시라카와(白川)강의 저위안단구(표고 12~13m)상에 위치한다. 혼조유적은 쿠로카미마치유적으로부터 직선거리로 2km 쯤 떨어져 있다. 이 유적과 근접한 곳에 오오에(大江) 유적과 신야시키(新屋敷)유적 등 큰 고대 취락 유적이 있다.

2006 년도에 실시된 조사 건수는, 발굴 조사 7 건, 입회조사 52 건, 시굴 조사 2 건이었다. 올해 실시된 발굴조사는, 모두 입회조사에서 바뀐 것 이다. 주된 조사의 결과는 다음과 같다.

쿠로카미마치(黒髪町)유적 0612④ 지점에서는, 공학부와 이학부교사의 개수공사 하기 전에 발굴 조사를 행했다.

조사의 결과, 고대 도랑과 기둥구멍, 수혈주거지가 검출되었다.유물로는 고대의 토기와 제사(祭祀)를 지낸 것 같은 수골와 역(礫), 화폐가 있다. 0612④ 지점에서 검출된 고대 큰 도랑는, 9810 지점에서 검출된 1호도랑으로 이어져 있는 것이다. 9810 지점에서 조사했던 고대취락이, 더 북쪽으로 확대되는 것을 확인했다.

0603·0604 지점은, 오교자료관(五高資料館)의 개수공사 하기 전에 발굴 조사를 행했다. 이 지점의 면적이 대단히 좁아, 또한 교란도 많이 있기 때문에, 유적내용을 파악하기가 어려웠다. 구러나, 자료관 주변에서는 유물 포함층이나 유구면가 남아 있는 것을 알 수 있었다.

혼조(本庄)유적 0622 지점은, 부속병원 새병동 건설에 따라, 주변 환경정비하기 전에 발굴 조사를 행했다. 이 조사 지점은 0411·0509 조사 지점의 주변부에 위치하여, 유물 포함층이나 유구면의 조사를 실시했다. 고대의 토기가 몇개 출토되었다.

본연도 실시된 조사는 모두 규모가 작은 편이었지만, 지금까지의 조사결과를 덧붙임 할결과를 얻었다. 근대와 현대의 개발행위 때문에, 이미 파괴된 곳도 있지만, 각 캠퍼스에서는 기본적으로 유적은 잘 남아 있음을 다시 확인할 수 있는 결과가 떤었다.

付篇 1 2006年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1. 国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（H16. 4. 1～）

（設 置）

第1条 国立大学法人熊本大学法人基本規則（平成16年4月1日制定）第29条第1項の規定に基づき、国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）に、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（組 織）

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各学部、大学院自然科学研究科及び医学部附属病院から選出された教授又は助教授 各1人
- (2) 施設部長
- (3) 埋蔵文化財調査室長
- (4) その他委員会が必要と認めた者 若干人

2 前項第1号及び第4号の委員は、学長が委嘱する。

3 第1項第1号及び第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 第1項第1号及び第4号の委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

（任 務）

第3条 委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（議 事）

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第6条 委員長は、必要があるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

（調査室）

第7条 委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）を置く。

2 調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。

（事 務）

第8条 委員会の事務は、施設部施設企画課において処理する。

（雑 則）

第9条 この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 この規則施行後、最初に委嘱される第2条第1項第1号の委員は、同号の規定にかかわらず、この規則施行の際現に熊本大学埋蔵文化財調査委員会委員である者をもって充てるものとし、その任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

2. 熊本大学埋蔵文化財調査室要項

(趣 旨)

第1条 この要項は、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（平成16年4月1日制定）第7条第2項の規定に基づき、熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の業務、組織その他必要な事項について定める。

(業 務)

第2条 調査室は、国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する次の業務を行う。

- (1) 実施計画の立案及び実施に関すること。
- (2) 出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存に関すること。
- (3) 文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。
- (4) その他必要な事項

(組 織)

第3条 調査室に室長を置く。

- 2 室長は、調査室に関する業務を掌理する。
- 3 調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。
- 4 調査員は、発掘調査に関する業務を行う。

(室長等の任命)

第4条 室長及び調査員は、本学の教員のうちから学長が任命する。
2 学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

(事 務)

第5条 調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、施設部施設企画課において処理する。

(雑 則)

第6条 この要項に定めるもののほか、調査室の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

3. 2006年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1 埋蔵文化財調査室組織（2006年4月1日現在）

<室 長>	（併・文学部教授）	木下 尚子
<調査員>	（併・文学部助教授）	小畑 弘己
	（併・文学部助手）	大坪 志子
		檀 佳克
<事務補佐員>		中川木綿子
<室内作業員>（2006年11月～2007年3月）		小山 正子
		古賀 敬子
		泗水 直子
		末吉 美紀
		溜瀧 俊子
		長谷 智子

2 埋蔵文化財調査委員会

委員長	伊藤 重剛 (工学部教授)	任期 (2006. 4. 1～2007. 3. 31)
委員	杉井 健 (文学部助教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	黨 武彦 (教育学部助教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	若曾根健治 (法学部教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	長谷川四郎 (理学部教授)	(2006. 4. 1～2007. 3. 31)
	三浦 洸 (医学部教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	今村 順茂 (薬学部助教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	森下 昭治 (附属病院助教授)	(2005. 4. 1～2006. 6. 30)
	平井 俊範 (附属病院助教授)	(2006. 7. 1～2008. 3. 31)
	伊東 龍一 (自然科学研究科助教授)	(2005. 4. 1～2007. 3. 31)
	森川 能任 (施設部長)	(2005. 1. 1～)
	木下 尚子 (埋蔵文化財調査室長)	(2005. 10. 1～)

審議事項

2006年 4月13日

第22回埋蔵文化財調査委員会議事要録確認
埋蔵文化財調査委員会委員長の選出について
委員名簿確認
委員会規則について
平成17年度埋蔵文化財発掘調査結果について
平成18年度埋蔵文化財発掘調査予定について
今後の埋蔵文化財発掘の届出について
その他

付篇 2 埋蔵文化財調査室2006年度調査・研究活動記録

【調査室】

・平成18年11月3日(金)～平成19年1月28日(日)「熊本大学埋蔵文化財調査室企画展『熊本大学を発掘する』」を五高記念館にて開催。構内再開発に伴う12年間の発掘調査で得られた成果を出土品とともに紹介した。展示は第一展示室から第三展示室までの3部屋で実施し、68日間の開催期間中、来場者数は1,808人であった。

第一展示室：黒髪町遺跡・本庄遺跡出土品展示、黒髪南地区検出住居址(9704調査地点)の模型展示。

第二展示室：大江遺跡・前島遺跡・京町台遺跡出土品の展示、発掘調査から調査報告書作成までの工程の紹介、年代測定法の紹介、土器の形の移り変わりについて。

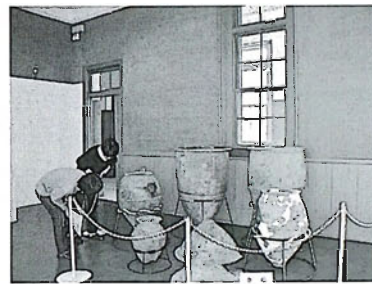
第三展示室：黒髪南地区出土の甕棺及び甕棺内の人骨の展示(9704調査地点)、埋蔵文化財の科学的分析の紹介(①植物栽培について フローテーション法とレプリカ法、②黒曜石の利用と産地について ③九州の縄文時代装身具の材質と産地について)



第一展示室



第二展示室



第三展示室

- ・平成18年11月18日（土）9時～12時 展示特別企画①実習「縄文時代の勾玉（まがたま）を造ろう」を五高記念館にて開催。小学生の親子を対象に勾玉造りの実習を行った。縄文人が実際に玉造りや石斧造りに使用していた蛇紋岩を使用することで、玉造りの大変さを実感してもらうと同時に、その大変な作業を経て造られた玉に込めた縄文人の思いを感じ取ってもらうことを目的に開催した。参加者は16名であった。



勾玉造りの様子①

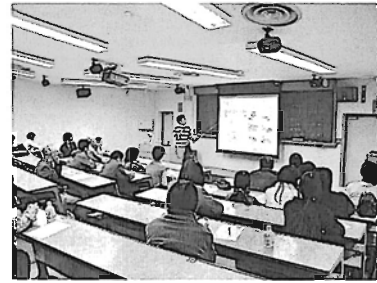


勾玉造りの様子②

- ・平成18年12月2日（土）13時～16時 展示特別企画②講演会「熊本大学を発掘する」を文・法学部A2教室にて開催。木下室長の挨拶に続き、調査員3名による講演を行った。『『熊本大学を掘る（構内遺跡発掘とその成果）』小畑弘己』『『縄文時代のアクセサリーと熊本の玉づくり』大坪志子』『『本庄遺跡からみた古墳時代』檀佳克』参加者は41名であった。

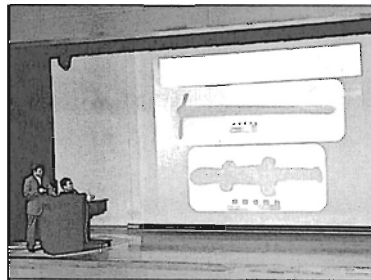


室長挨拶の様子

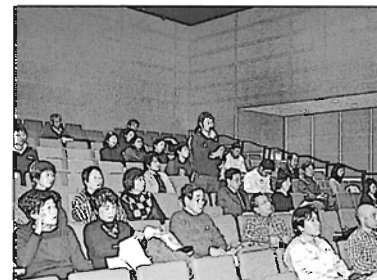


講演会の様子

- ・平成19年1月29日（月）18時30分～20時30分 「埋蔵文化財調査室企画考古学講演会『モンゴル考古学最前線』」を工学部百周年記念館にて開催した。『『モンゴル考古学の現況－旧石器時代から元代まで』Batmunkh TSOGTBAATAR（モンゴル考古学研究所副所長）』『『チンギス・カン宮廷跡の考古学的調査』白石典之（新潟大学教授）』参加者は42名であった。



講演会の様子



質疑応答の様子

【室長】

木下尚子

- ・平成18年度 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（2）海外「13～14世紀海上貿易からみた琉球国成立要因の実証的研究－中国福建省を中心に－」研究代表者
- ・平成18年度 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（2）海外「台湾人の口述歴史の採集分析に基づく日本統治から戦後への台湾社会の転換に関する研究」研究分担者
- ・平成18年度人間文化研究機構総合地球環境学研究所プロジェクト「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」共同研究員

【調査員】

小畑弘己

- ・平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（B）（C）「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究代表者
- ・平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（A）（1）海外学術調査「13～14世紀海上貿易からみた琉球国成立要因の実証的研究－中国福建省を中心に－」研究分担者
- ・平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金 萌芽研究「考古学資料に基づく「寒冷化現象」把握のための基礎的研究」研究分担者
- ・平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C）「モンゴル帝国興亡史の海面を目指した環境考古学的研究」研究分担者
- ・平成18年度文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「中世考古学の総合的研究－学融合をめざした新領域創生－」研究区分C01－2「北東アジア中世遺跡の考古学的研究」研究分担者
- ・平成18年度文部科学省科学研究費補助金 特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成－寧波を焦点とする学際的創生－」研究区分C01－06「11～16世紀の東アジア海域と寧波－博多関係」研究分担者
- ・第8回北アジア調査研究報告会「土器圧痕資料からみた農耕受容期の栽培植物について」（共同発表：仙波靖子（2007年2月10・11日，東京大学）。
- ・日本考古学協会第72回総会研究発表会「ロシア共和国南沿海州クラーク5遺跡の発掘調査について」（共同発表：甲元眞之・宮本一夫・富岡直人・Yu. E. Vostretsov・E. I. Gel'man）（2006年5月28日，東京学芸大学）。
- ・第3回九州古代種子研究会「ザイサノフカ7遺跡出土土器の種子圧痕と沿海州の初期農耕」（2006年7月1・2日，福岡市埋蔵文化財センター）
- ・平成18年度第1回埋蔵文化財担当専門職員研修会講師「古民族植物学研究法と東北アジアの穀物栽培」（2006年7月21日，宮崎県埋蔵文化財センター分館）
- ・熊本大学韓国フォーラム2006研究発表（ポスターセッション）「Reconstruction of Production System of the Stone Beads in Jomon Period, Kyushu based on Chemical Analysis.」（共同発表：大坪志子）（2006年9月26日，大韓民国培材大学）
- ・熊本大学韓国フォーラム2006研究発表「Diffusion of Cultivated Cereals in Far East Asia Researched with Paeoethnobotanical Methods－Did Kokuzoumushi, Maize weevil, eat rice really?－」（9月26日，大韓民国培材大学）
- ・Vladivostok International Science Seminar “Reconstruction of cultivation plant complex in the Early Agriculture in Japan by replication of impression on pottery－What did Kokuzoumushi (Maize weevil) eat?－.” *People and Plants in Prehistoric and Historic Times of the Eastern Asia (Gathering and Cultivation)*, （共同発表：仙波靖子）（2006年9月18日，ロシアウラジオストック市）
- ・平成18年度九州史学会大会研究発表会「理化学的分析による九州縄文時代石製装身具の生産システムの解明（復元）」（共同発表：大坪志子・比佐陽一郎・上原誠一郎・森 康）（2006年12月9日，九州大学）

大坪志子

- ・九州史学会「理化学的分析による九州縄文時代石製装身具の生産システムの解明（復元）」（2006年12月9日，九州大学）
- ・熊本大学韓国フォーラム2006「Reconstruction of Production System of the Stone Beads in Jomon Period, Kyushu region. Based on Chemical Analysis」（9月26日，大韓民国培材大学）
- ・平成18年度 環日本海交流史研究集会「九州地方の石製装身具－石材からのアプローチ－」

檀 佳克

- ・第9回九州前方後円墳研究会発表「有明海沿岸地域における前期古墳の動向」（2006年6月17・18日，別府大学）

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくまいぞうぶんかざいちょうさしつねんぼう 13							
書名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報 13							
副書名								
巻次								
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報							
シリーズ号	13							
編著者名	木下尚子・小畑弘己・大坪志子・檀 佳克・中川木綿子							
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室							
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832							
発行年月日								

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0603地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 49′ 00″	130° 43′ 39″	20060411	32.1㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0604地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	285	32° 49′ 00″	130° 43′ 39″	20060411 ～ 20060412	25.12㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612①地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48′ 46″	130° 43′ 39″	20060522	1.1㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612②地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48′ 48″	130° 43′ 44″	20060522 ～ 20060524	24㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (0622地点)	くまもと 熊本市 ほんじょう本庄	43 201	278	32° 47′ 41″	130° 42′ 39″	20061002 ～ 20061113	50.68㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612④地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48′ 49″	130° 43′ 46″	20061215 ～ 20070109	162.7㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0636地点)	くまもと 熊本市 黒髪	43 201	278	32° 48′ 47″	130° 43′ 46″	20070118 ～ 20070123	162.7㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

※北緯・東経の数値は世界測地系に基づく値です

所収遺跡	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0603地点)	集 落 址	古代	溝状遺構・ピット	土師器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0604地点)	集 落 址	古代	溝状遺構・ピット	土師器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612①地点)	集 落 址	古代	ピット	土師器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612②地点)	集 落 址	古代	溝・ピット	土師器・須恵器	
ほんじょう 本庄遺跡 (0622地点)	集 落 址	古代	—	土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0612④地点)	集 落 址	古代	竪穴住居址・柱穴・溝	土師器・須恵器 動物骨	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0636地点)	集 落 址	古代	ピット	土師器・須恵器・礫	

熊本大学埋蔵文化財調査室年報13

— 2006年度 —

平成20年 3 月31日 印刷

平成20年 3 月31日 発行

編集兼発行者 熊本大学埋蔵文化財調査室

熊本市黒髪 2 - 39 - 1

電話 (096) 342 - 3832

印刷所 シモダ印刷株式会社
